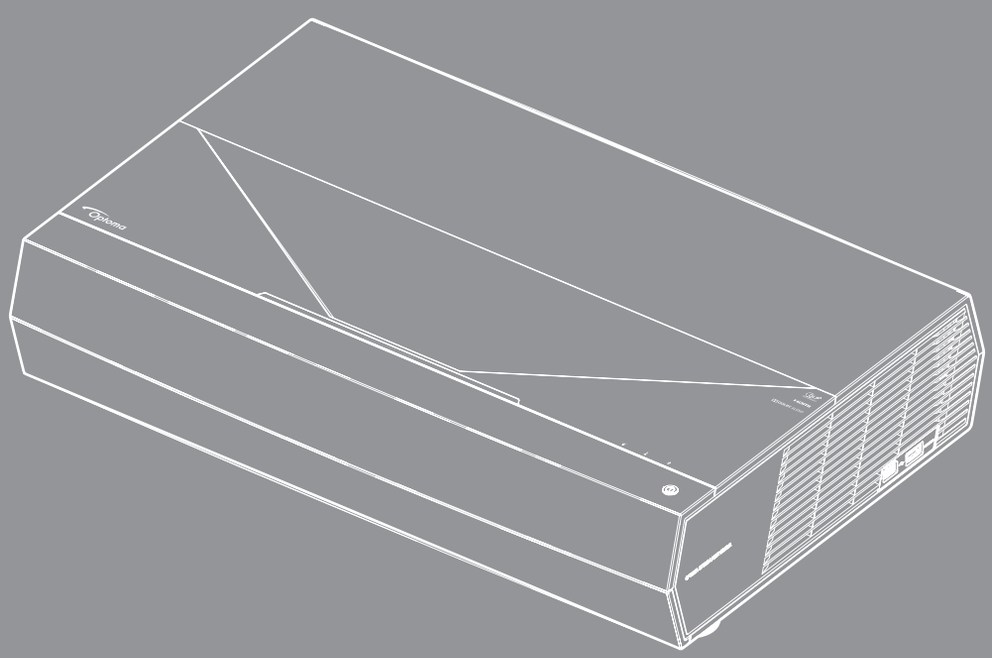
Optoma

4K HDR対応DLP超短焦点レーザープロジェクター

G1　取扱説明書（保証書付）



DOLBY AUDIO　4K ULTRA HD　HDMI HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE　DLP TEXAS INSTRUMENTS　4K UHD　HDR COMPATIBLE

目次

安全 4

安全に関するご注意 4
レンズの清掃 5
レーザー放射に関する安全情報 6
3D 安全情報 7
著作権 8
免責条項 8
商標認識 8
FCC 8
EU 諸国への適合宣言 9
WEEE 9

はじめに 10

パッケージの内容 10
標準アクセサリー 10
製品の各部名称 11
接続 12
キーパッドおよび LED インジケーター 12
リモコン 13
Bluetooth リモコンとプロジェクターをペアリングする 14

設定と設置 15

プロジェクターを設置する 15
ソースをプロジェクターに接続する 16
投写画像の調整 17
リモコンの準備 18

プロジェクターを使用する 19

プロジェクターの電源を入れる/切る 19
プロジェクターをワイヤレススピーカーとして使用する 23
ホーム画面の概要 24
システム日時 24
プロジェクター設定メニュー (OSD) 25
システム設定メニュー 37
入力ソースを選択する 48
アプリの選択 49
サポートするマルチメディア形式 50
ステータスバーの表示 54
クイックメニューについて 54

追加情報 55

対応解像度 *55*
イメージサイズと投写距離 *56*
リモコン *57*
トラブルシューティング *60*
LED 点灯メッセージ *62*
仕様 *64*

安全

	正三角形内部の矢印の付いた稲妻は、製品の筐体内部に感電の恐れのある、絶縁されていない「危険な電圧」が相当な規模 で存在していることをユーザーに警告するものです。
	正三角形内部の感嘆符は、機器に付属するマニュアルに、重要な操作およびメンテナンス (修理点検など) に関する指示があることをユーザーに警告するものです。

この取扱説明書で推奨されたすべての警告、安全上のご注意およびメンテナンスの指示に従ってください。

感電を防止するため、装置およびその周辺装置を適切に接地（アース）してください。

安全に関するご注意

- 通気孔を塞がないでください。プロジェクターを過熱から守り、正常な動作を保つため、通気孔を塞がないような場所に設置してください。飲み物等が置かれたコーヒーテーブルや、ソファ、ベッドにプロジェクターを置かないでください。また、本棚、戸棚など風通しの悪い狭い場所に置かないでください。
- 火事や感電のリスクがありますので、プロジェクターを雨や湿気にさらさないでください。ラジエーター、ヒーター、ストーブまたは熱を発生するその他の機器 (アンプを含む) など、熱源のそばに設置しないでください。
- プロジェクター内部に、異物や液体が入らないよう、ご注意ください。危険な電圧部分に触れて、部品がショートしたり、火災、感電を引き起こす原因になります。
- 以下のような環境下では使用しないでください。
  - 極端に気温の高い、低い、あるいは湿気の多い場所。

    (i) 室温が 5℃～ 40℃ （41°F ～104°F） の範囲に保たれていることを確認します

    (ii)相対湿度は 10% ～ 85% の範囲です
  - 大量のほこりや汚れにさらされる場所。
  - 強い磁場が集まる装置の傍に置く。
  - 直射日光の当たる場所。
- 物理的に破損している、または乱用された痕跡のある装置は使用しないでください。物理的なダメージや酷使とは以下の通りです (ただしこれらに限定されません):
  - 装置を落とした。
  - 電源装置のコードまたはプラグが壊れている。
  - プロジェクターに液体をこぼした。
  - プロジェクターを、雨や湿気にさらしてしまった。
  - プロジェクター内部に何らかの異物を落とした。または、内部で何かが緩んでいる音がする。

- 不安定な場所にプロジェクターを置かないでください。プロジェクターが落下して壊れたり、人身事故を起こす可能性があります。
- プロジェクターの使用中、プロジェクターのレンズから発せられる光を遮断しないでください。光が物体を暖め、溶解、火傷、火災などを引き起こす恐れがあります。
- プロジェクターのカバーを外したり、本体を分解したりしないでください。感電の原因になります。
- お客様自身でこのプロジェクターを修理しないでください。カバーを開けたり取り外したりすると、危険な 電圧やその他の危険にさらされます。本機を修理に出す前に、テクニカルサポートセンター にお電話ください。
- 安全に関係するマーキングについては、プロジェクターの本体をご覧ください。
- 本機の修理は、適切なサービススタッフだけに依頼してください。
- メーカー指定の付属品/アクセサリーのみをご使用ください。
- プロジェクターの使用中、プロジェクターのレンズを直視しないでください。強力な光線により、視力障害を引き起こす恐れがあります。
- プロジェクターの電源を切るときは、冷却サイクルが完了したことを確認してから、電源コードを抜いてください。プロジェクターは、少なくとも 90 秒間、放熱させてください。
- 本体のスイッチをオフにして、電源プラグをコンセントから抜いてから、本機をクリーニングしてください。
- ディスプレイの筐体を洗浄する際は、中性洗剤と柔らかい乾いた布をご使用ください。本体を研磨剤、ワックス、溶剤で洗浄しないでください。
- 本機を長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 振動や衝撃を受けるような場所にプロジェクターを設置しないでください。
- レンズを素手で触らないでください。
- 保管前にリモコンから電池を取り外してください。長期間、電池がリモコンに入っていると、液漏れが発生する恐れがあります。
- 石油または煙草からの煙が存在する可能性がある場所でプロジェクターを使用または保管しないでください。プロジェクターの性能が低下する可能性があります。
- プロジェクターは正しい向きで設置してください。標準的な設置方法でなければ、プロジェクターの性能が低下する可能性があります。
- 電源ストリップ、および/または、サージプロテクターを使用してください。停電または電圧低下により装置が破損する恐れがあります。

レンズの清掃

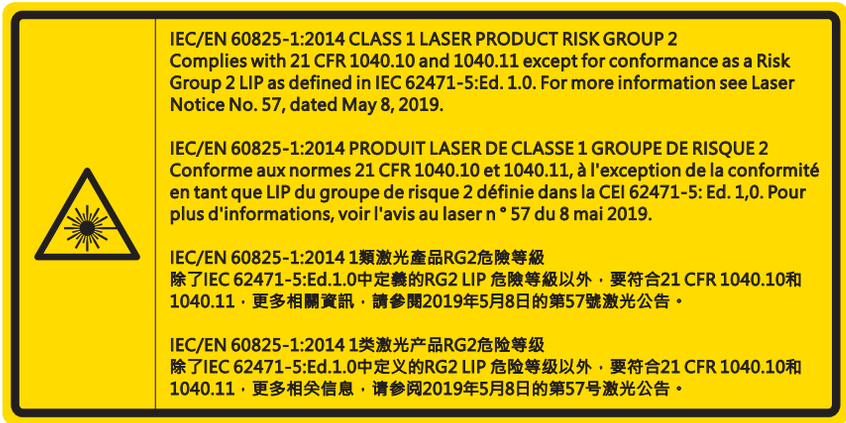
- レンズを清掃する前に、必ず、プロジェクターの電源を切り、電源コードを切断し、完全に冷却させてください。
- 埃を取り除くために、圧縮空気タンクを使用してください。
- レンズ清掃用の特殊布を使用し、レンズを優しく拭いてください。レンズを指で触らないでください。
- レンズの清掃に、アルカリ性/酸性の溶剤またはアルコールなどの揮発性の溶剤を使用しないでください。 清掃処理により、レンズが損傷した場合、保証の対象とはなりません。

警告

- レンズから埃または汚れを取り除くために、可燃性ガスを含むスプレーを使用しないでください。プロジェクトー内部の過度の熱より、火災が発生する可能性があります。
- レンズ表面のフィルムが剥がれる可能性がありますので、プロジェクターがウォームアップ中は、レンズを清掃しないでください。
- 硬い物でレンズを拭いたり、叩いたりしないでください。

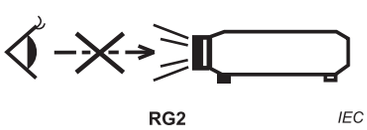
レーザー放射に関する安全情報

IEC 62471-5:Ed. 1.0 でリスクグループ 2 LIP として定義される適合性を除き、21 CFR 1040.10 および 1040.11 に準拠します。1.0. 詳細は、2019 年 5 月 8 日付けのレーザー通知第 57 号をご参照ください。



以下を遵守しないと、死亡または重傷につながる可能性があります。

- 本製品には、クラス 4 レーザーモジュールが内蔵されています。分解または改造は非常に危険ですので、絶対に試みないでください。
- ユーザーガイドに具体的に記載されていない操作または調整は、危険なレーザー放射曝露を引き起こす可能性があります。
- レーザー放射曝露による存在を引き起こす可能性がありますので、プロジェクターを開いたり、分解したりしないでください。
- プロジェクターがオンの間、光線を凝視しないでください。明るい光により、目が恒久的に損傷する可能性があります。
- プロジェクターの電源を入れるときは、レンズを見れる投影範囲に人がいないことを確認してください。
- 制御、調整、操作手順を遵守しないと、レーザー放射曝露により、損害が発生する可能性があります。
- レーザーへの曝露の可能性を回避するための予防策に関する明確な警告を含めて、組み立て、操作、およびメンテナンスに対して適切な指示を行ってください。



- IEC 60825-1:2014 クラス 1 RG2
  IEC 62471-5:2015 RG2
- お子様がプロジェクターの光線を見つめたり、光学機器を使ってプロジェクターの光線を見たりしないよう監視すべきことを指示してください。
- お子様の手の届かないところに設置するように指示してください。
- プロジェクターからの距離に関係なく、お子様にプロジェクターの光線を見つめないように監視するよう通知してください。
- プロジェクターのレンズの前でリモコンを使ってプロジェクターを起動するときは注意するよう通知してください。
- プロジェクターの光線内で双眼鏡または望遠鏡などの光学機器を使用しないよう通知してください。
- あらゆる明るい光源と同様に、プロジェクターの光線を見つめないようにしてください (RG2 IEC 62471-5:2015)。
- 警告：お子様の目線より上に設置してください。本プロジェクターをお子様の目線より上に設置する場合は、天井マウントの使用をお勧めします。

3D 安全情報

推奨されるすべての警告と安全上の注意に従った上で、ご自身またはお子様が 3D 機能をご利用ください。

警告
幼児及び 10 代の方は、3D 鑑賞に関連する健康問題により影響を受けやすくなっています。よって、これらの画像を見る際は十分にご注意ください。

光感受性発作の警告及びその他健康面におけるリスク

- プロジェクターの画像やビデオゲームに含まれる点滅画面やライトに曝されると、一部視聴者はてんかん症状や発作を起こす恐れがあります。そのような症状が発生した場合又はてんかんや発作の家族歴がある場合、3D 機能をご使用いただく前に、医療専門家にご相談ください。
- てんかんや発作の個人歴又は家族歴がない方でも、光感受性てんかん発作を引き起こす診断未確定症状が現れる場合があります。
- 妊婦、高齢者、重症患者、不眠症患者やアルコール依存症の方は、当装置の 3D 機能のご使用はお控えください。
- 以下の症状を経験されたことがある方は、ただちに 3D 画像の鑑賞を中止し、医療専門家にお問い合わせください：(1) 視覚の変化、(2) 軽い頭痛、(3) 眩暈、(4) 眼や筋肉の引き攣りといった無意識の動作、(5) 混乱状態、(6) 吐き気、(7) 意識喪失、(8) 痙攣、(9) 急激な腹痛、及び (又は) (10) 見当識障害。幼児及び 10 代の方は大人よりこれらの症状が出やすいとされています。お子様については、 これらの症状が出ていないか注意してください。
- 3D投写の鑑賞はまた、吐き気、知覚後遺症、見当識障害、眼精疲労、姿勢の安定性減少をもたらす恐れがあります。ユーザーはこれらの影響の可能性を削減するために、頻繁に休憩を取ることが推奨されます。目に疲労や乾き、又は上記のどれか症状が出現した場合、ただちに当機器のご使用を中止いただき、症状が落ち着いてから最低 30 分はご使用をお控えください。
- 長時間、かなり画面の近くに座って 3D 投写を鑑賞すると、視力にダメージを与える恐れがあります。理想的な鑑賞距離は、画面高さの最低 3 倍の距離となっています。また視聴者の目の位置が画面の高さにあることが推奨されます。
- 3D 眼鏡をかけながらの長時間にわたる 3D 投写の鑑賞は、頭痛や疲労を引き起こす恐れがあります。頭痛、疲労や眩暈を感じた場合、3D 投写の鑑賞を中止し、休憩してください。
- 3D投写の鑑賞以外の目的での 3D 眼鏡のご使用はお止めください。
- その他目的 (通常の眼鏡、サングラス、保護ゴーグルなど) のための 3D 眼鏡の着用は、肉体的傷害を引き起こしたり、視力の低下をもたらす恐れがあります。
- 3D投写の鑑賞は、一部視聴者において見当識障害を引き起こす恐れがあります。よって、広い階段の吹き抜け、ケーブル、バルコニーやその他転んだり、衝突したり、倒れたり、壊れたり、落ちたりする可能性がある場所の傍に 3D プロジェクターを設置しないでください。

著作権

この出版物は、すべての写真、イラスト、ソフトウェアを含め、著作権に関する国際法の下で保護され、無断複写・転載が禁じられます。このマニュアルもこの中に含まれるいかなる素材も作者の書面による同意なしで複製することはできません。

© 著作権 2020

免責条項

本書の情報は予告なしで変更されることがあります。製造者は本書の内容についていかなる表明も保証もせず、特に、商品性または特定目的の適合性について、いかなる暗黙的保証も否定します。製造者は本出版物を改訂し、その内容を折に触れて変更する権利を留保します。ここで、かかる改訂または変更を通知する義務は製造者にないものとします。

商標認識

Kensington は ACCO Brand Corporation の米国登録商標であり、世界中の他国で登録され、あるいは登録申請中になっています。

HDMI、HDMI ロゴ、High-Definition Multimedia Interface は米国とその他の国における HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。

DLP®、DLP Link および DLP ロゴは、Texas Instruments の登録商標です。BrilliantColor™ は、Texas Instruments の商標です。

Dolby Laboratories からのライセンス下で製造されています。
Dolby、Dolby Audio および double-D 記号は、Dolby Laboratories の商標です。

Amazon、Alexa および関連するロゴは、Amazon.com,Inc. またはその関連会社の商標です。

本書に記載されているその他すべての製品名はそれぞれの所有者の財産であり、認知されています。

FCC

本装置は、FCC 基準パート 15 に準ずる Class B のデジタル電子機器の制限事項に準拠しています。これらの制限は、居住地において有害な干渉からの適切な保護を提供するために設定されております。本装置は高周波エネルギーを生成し使用しています。また、高周波エネルギーを放射する可能性があるため、指示に従って正しく設置しなかった場合は、無線通信に障害を及ぼす可能性があります。

しかし、干渉が個々の設置において発生しないと保証することはできません。本装置の電源を切ったり入れたりすることにより、本装置がラジオやテレビ受信に有害な干渉をもたらしていることが確認できる場合は、下記の手順で改善を試みてください：

- 受信アンテナの再設定又は移動。
- 本装置と受信機の距離を離す。
- 受信機の接続とは異なる回路のコンセントを本装置へ接続。
- 販売代理店又は資格のある無線/テレビ技術者へのお問い合わせ。

注意：シールドケーブル

その他コンピューターデバイスへの全ての接続は、FCC 規則を遵守するために、シールドケーブルを必ず使用して行ってください。

注意事項

本装置に対しメーカーが明確に認定していない変更や修正を加えると、連邦通信委員会で許可されているユーザー権限が無効になることがあります。

運転状況

本装置は、FCC 規則パート 15 に準拠しています。運転は、以下の 2 つの状況を前提とします：

1. 本装置は、有害な干渉を引き起こしてはならない。
2. 本装置は、不要な作動を引き起こす恐れのある干渉を含む干渉受信を許容する。

注意：カナダにお住まいのユーザーへ

当 Class B デジタル機器は、カナダ ICES-003 に準拠しています。

Remarque à l'intention des utilisateurs canadiens

Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

EU 諸国への適合宣言

- EMC 指令 2014/30/EC (修正案を含む)
- 低電圧指令 2014/35/EC
- R & TTE 指令1999/5/EC (製品に RF 機能が搭載されている場合)

WEEE

廃棄物についての指示

当機器を処分する際、電子装置はゴミ箱に捨てないでください。汚染を最小限に抑え、最大限グローバルな環境を保護するために、リサイクルください。

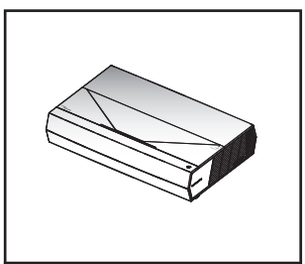
はじめに

パッケージの内容

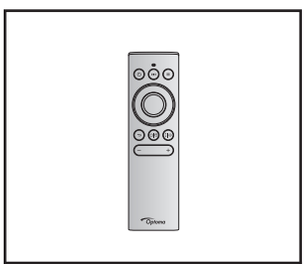
慎重に箱から取り出し、下の標準アクセサリーに記載されている品目が揃っていることを確認します。オプションの付属品については、モデル、仕様、購入地域によっては入っていない場合があります。購入場所で確認してください。地域によっては付属品が異なる場合があります。

保証書は一部の地域でのみ同封されます。詳細については、販売店にお問い合わせください。

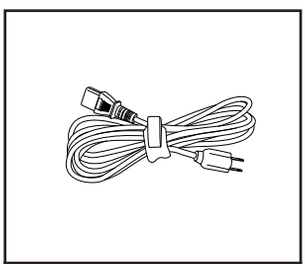
標準アクセサリー



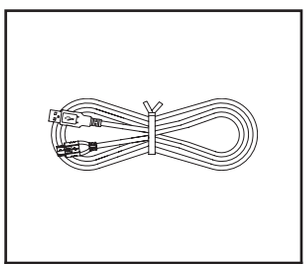
プロジェクター



リモコン



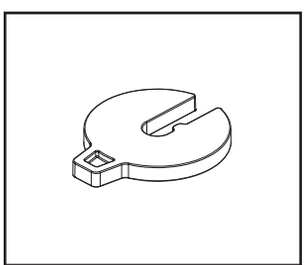
AC 電源コード



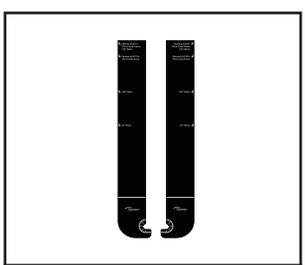
マイクロ USB ケーブル

☑ 取扱説明書（保証書付）
☑ クイックスタートユーザーマニュアル

文書



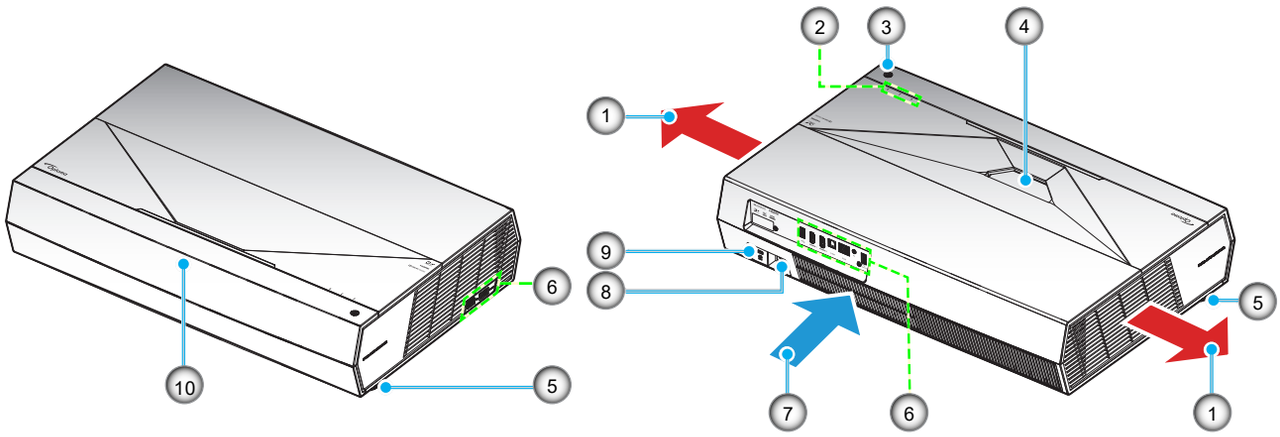
フットスペーサー

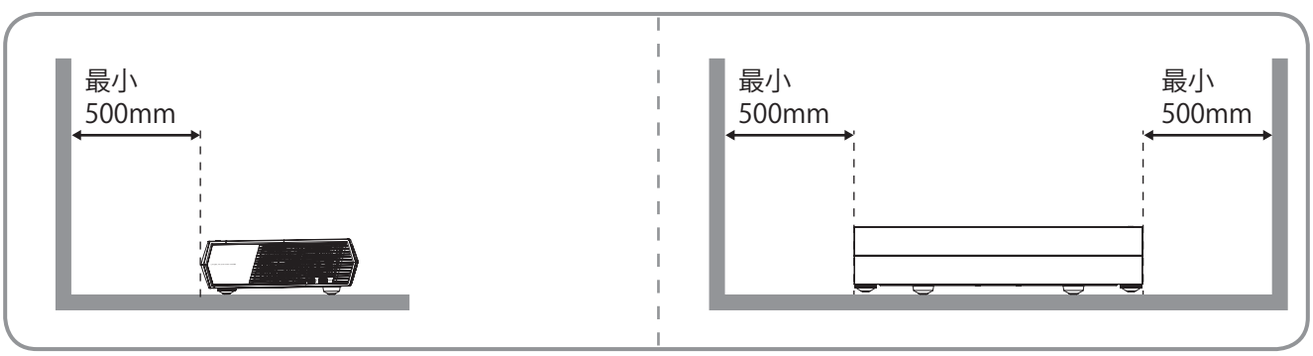


距離カード

はじめに

製品の各部名称





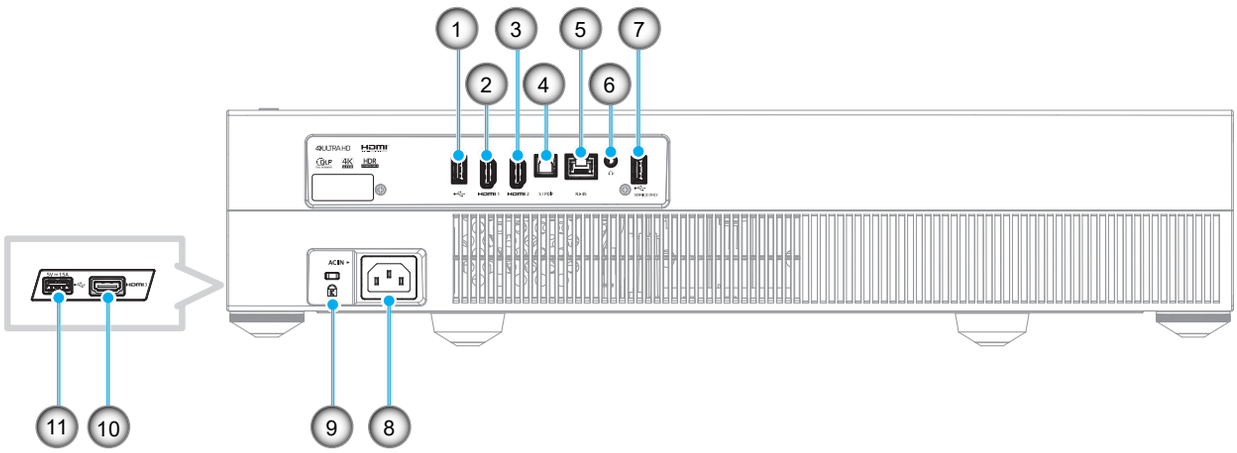
注記：

- *プロジェクターの吸気口または排気口を塞がないでください。*
- *プロジェクターを閉じられた空間で操作するときは、吸気口および排気口を少なくとも 50cm (19 インチ) 隙間をあけてください。*

No.	アイテム	No.	アイテム
1.	換気 (排気口)	6.	入/出力
2.	LED インジケーター	7.	換気 (吸気口)
3.	電源ボタン	8.	電源ソケット
4.	レンズ	9.	Kensington™ ロック ポート
5.	チルト調整フット	10.	IR レシーバー

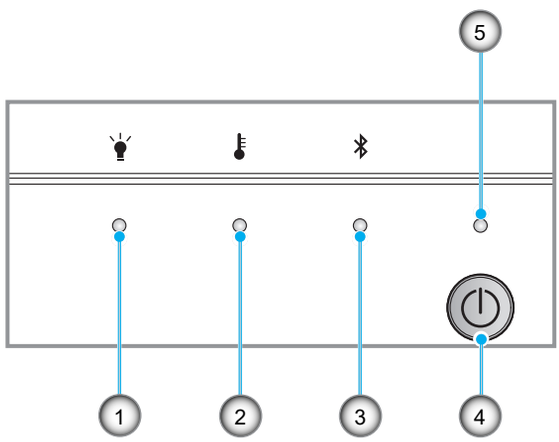
はじめに

接続



No.	アイテム	No.	アイテム
1.	USB 2.0 ポート/USB メディアプレーヤー	7.	USB 2.0 ポート (サービスのみ)
2.	HDMI 1 ポート (HDMI v2.0 (ARC))	8.	電源ソケット
3.	HDMI 2 ポート (HDMI v2.0)	9.	Kensington™ ロック ポート
4.	S/PDIF ポート (デジタル出力)	10.	HDMI 3 ポート (HDMI 1.4)
5.	RJ-45 ポート	11.	USB 2.0 ポート (電源 5V⎓1.5A)(*)
6.	音声出力ポート		

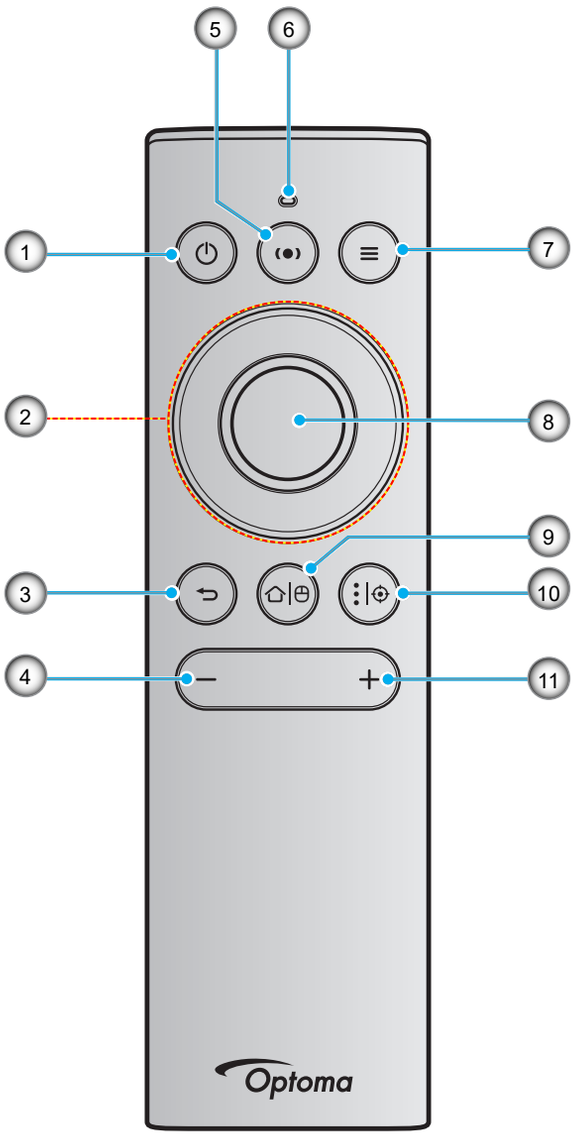
キーパッドおよび LED インジケーター



No.	アイテム	No.	アイテム
1.	ランプ LED	4.	電源ボタン
2.	温度 LED	5.	電源 LED
3.	Bluetooth LED		

はじめに

リモコン



No.	アイテム
1.	電源オン/スタンバイ
2.	4 方向選択ボタン： 上 左　右 下

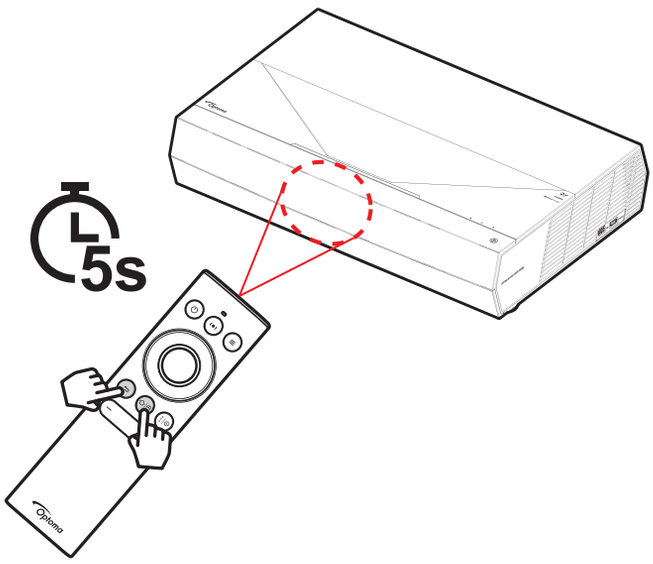
No.	アイテム
3.	戻る
4.	音量 -
5.	オーディオモードオン
6.	LED インジケーター
7.	プレーヤーメニュー/クイックメニュー
8.	OK
9.	ホーム/エアマウス有効/無効
10.	Android アプリ設定/フォーカス
11.	音量 +

注記： *リモコンは、赤外線 (IR) および Bluetooth 伝送をサポートします。また、エアマウスとして動作します。*

はじめに

Bluetooth リモコンとプロジェクターをペアリングする

「⌂|⊖」および「⮌」ボタンを**同時に**5秒間長押ししてください。Bluetooth リモコンのステータス LED が青色に点滅する場合、デバイスはペアリングモードです。



ペアリングプロセスには、約 20 秒かかります。ペアリングに成功すると、ボタンを押すと、Bluetooth リモコン上のステータス LED は、青色に点灯します。ペアリングに失敗した場合は、ボタンを押すと、Bluetooth リモコン上のステータス LED は、緑色に点灯します。

Bluetoothリモコンは、10分間アイドル状態になった場合、自動的にスリープモードに入り、Bluetoothは切断されます。

注記：

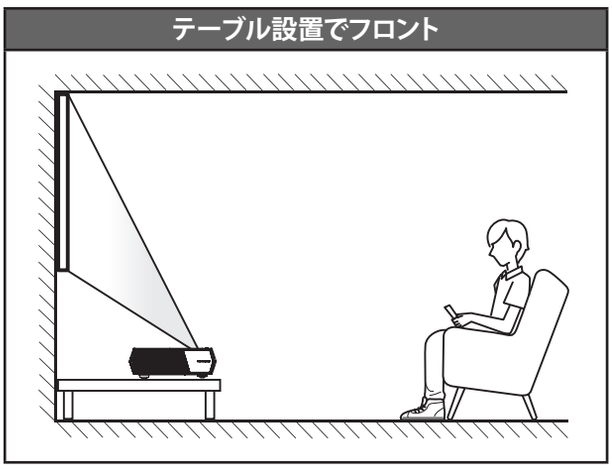
- *実際のリモコンは、地域により変わることがあります。*
- *ボタンによっては、これらの特長をサポートしていないモデルの機能がない場合があります。*

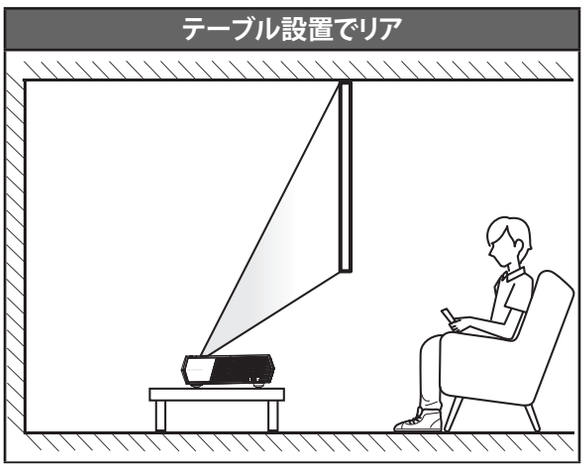
設定と設置

プロジェクターを設置する

このプロジェクターは設計上、2 つの設置方法のいずれかを選んで設置できます。

部屋の設計や個人の好みに合わせて設置方法を決めてください。スクリーンの大きさと位置、コンセントの場所、プロジ ェクターとその他の機材の位置と間の距離を考慮します。





- 特定のスクリーンサイズに対してプロジェクターの位置を決定する方法については、*56* ページの距離表を参照してください。
- 特定の距離に対してスクリーンサイズを決定する方法については、*56*ページの距離表を参照してください。

注記：

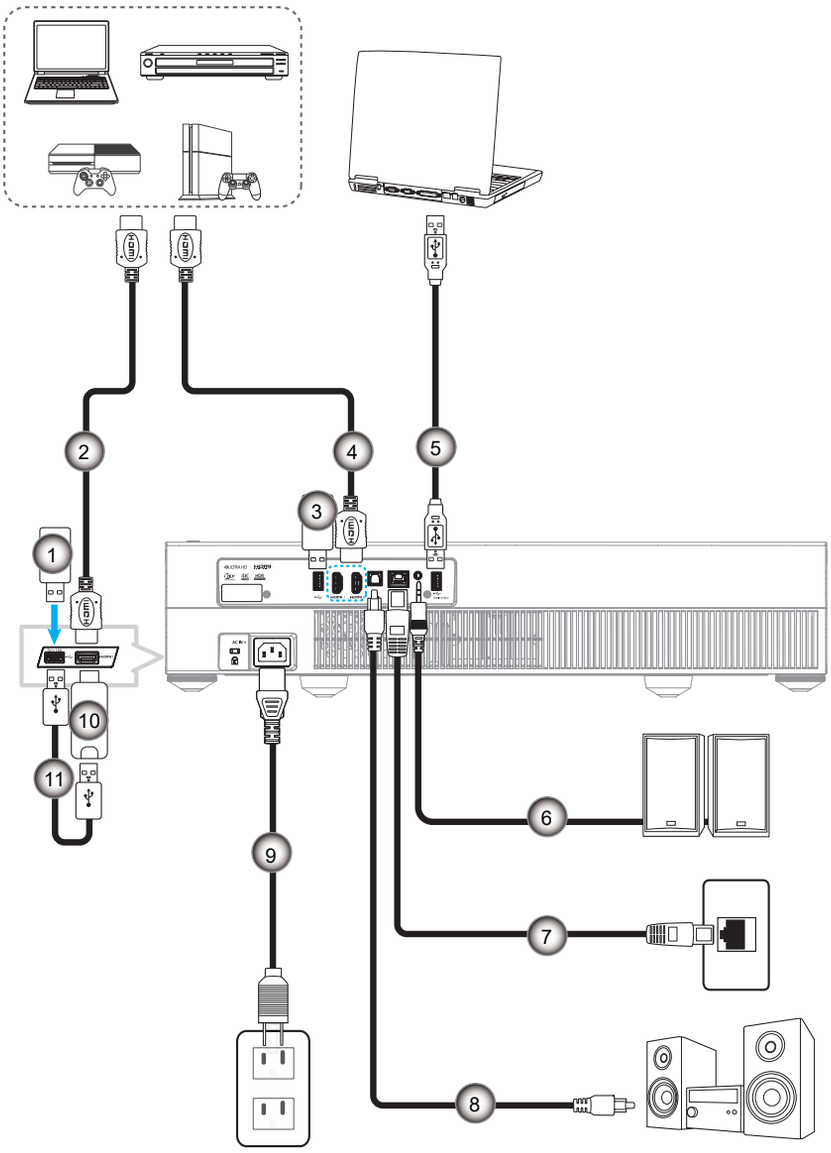
- *プロジェクターとスクリーンの間の距離が離れると、投写される画像がそれだけ大きくなり、垂直オフセットも比例して大きくなります。*
- *光学的製造の制限により、垂直オフセットは異なる異なる場合があります。プロジェクターを切り替えるとき、追加調整が発生する可能性があります。*

重要!

*机上取り付け以外の向きでプロジェクターを操作しないでください。プロジェクターは水平にし、前後または左右に傾けないようにしてください。それ以外の向きは保証を無効にします。また、プロジェクター自体の寿命を短くする恐れがあります。非標準設置に関するアドバイスについては、**テクニカルサポートセンター**にお問合せください。*

設定と設置

ソースをプロジェクターに接続する



No.	アイテム	No.	アイテム	No.	アイテム
1.	USB フラッシュ ドライブ	5.	USB ケーブル (サービスのみ/ DDP FW アップグレード)	9.	電源コード
2.	HDMI ケーブル	6.	オーディオ出力ケーブル	10.	HDMI ドングル
3.	USB フラッシュ ドライブ	7.	RJ-45 ケーブル (インターネット用)	11.	USB 電源ケーブル
4.	HDMI ケーブル	8.	S/PDIF 出力ケーブル		

注記： *USB マウスまたはキーボードを USB ポートに接続できます。*

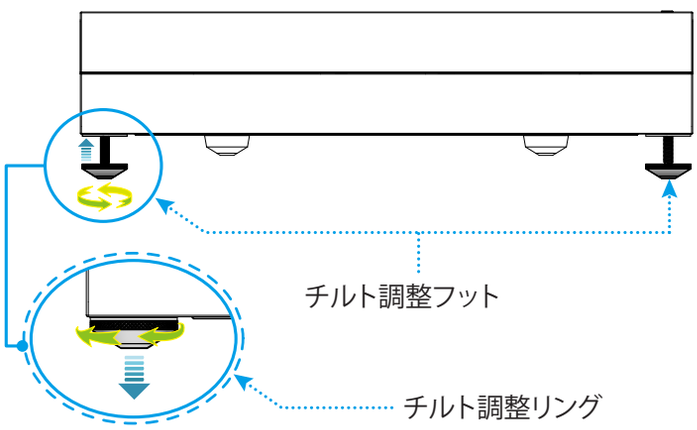
設定と設置

投写画像の調整

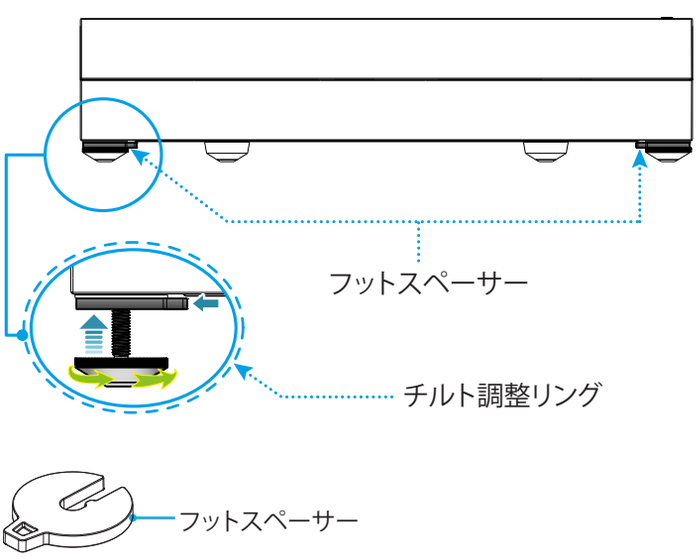
画像の高さ

本プロジェクターには、投写映像の高さを調整するためのチルト調整フットがあります。

1. プロジェクターの底面の、変更したい調整フットを探します。
2. 調整フットを時計方向/反時計方向に回してプロジェクターを上げ下げします。



注記： *プロジェクターを水平にする場合は、調整フットを回転させ、両方のフットにフットスペーサーを取り付けてください。次に、フットを締めてください。*

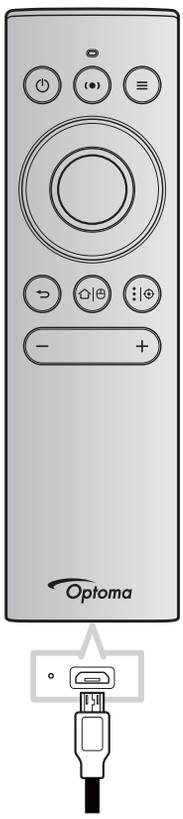


設定と設置

リモコンの準備

リモコンの充電

リモコンを充電するには、マイクル USB ケーブルに一端をリモコン下部の USB ポートに、他端を充電に対応するデバイスの USB ポートに接続してください。例えば、プロジェクター側面の USB 2.0 ポートに接続してください。



注意事項：

安全な操作を保証するため、以下の注意事項を遵守してください。

- 水または液体に接触させないようにしてください。
- リモコンを湿気または熱に曝さないでください。
- リモコンを落下させないでください。

注記：

- *充電中は、リモコンを使用しないでください。*
- *10 分間使用しないと、リモコンは自動的にスリープモードに移行します。*
- *スリープモードからリモコンを復帰させるには、ボタンを押してください。ボタンを押すと、リモコンは復帰しますが、関連機能は実行されません。関連機能を実行するには、もう一度ボタンを押してください。*

エアマウスについて

- エアマウスを有効または無効にするには、「⌂|⊖」を長押ししてください。
  注記： *リモコンがスリープモードに移行するか、「**上**」、「**下**」、「**左**」、「**右**」ボタンを押すと、エアマウス機能は自動的に無効になります。*
- バッテリー電源が 20% を下回り、LED インジケーターが赤色に点滅を開始したら、リモコンを充電してください。
- 充電中、LED インジケーターは、赤色に点灯します。充電が完了すると、LED インジケーターは、緑色に点灯します。

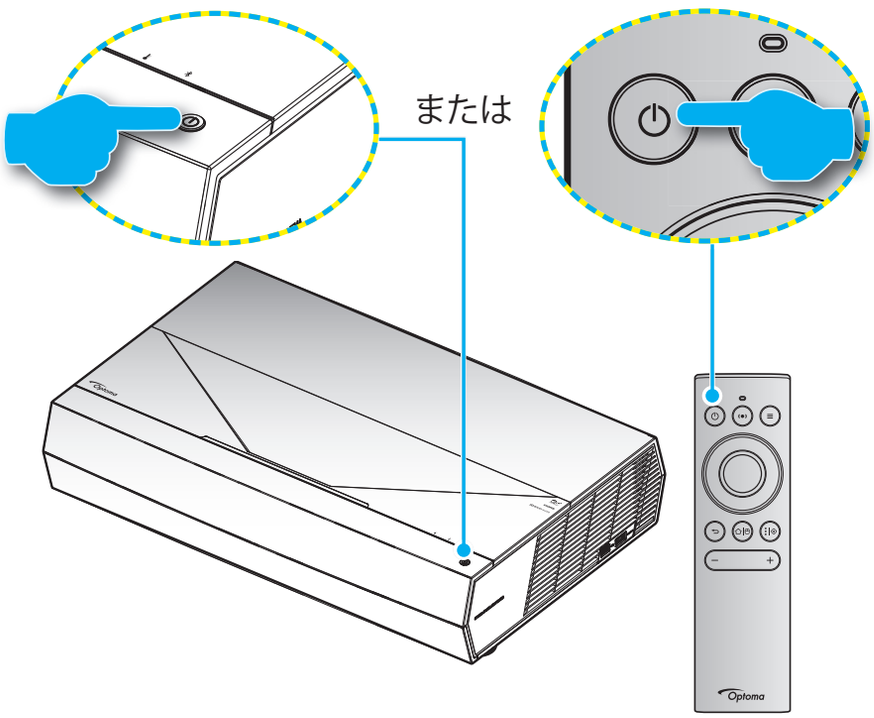
  注記： *バッテリーのフル充電には、約 1.5 時間かかります。バッテリー容量は 250mAh (0.925Wh) です。*

プロジェクターを使用する

プロジェクターの電源を入れる/切る

パワーオン

1. AC 電源コードの一端をプロジェクターの電源ソケットに、他端を電源コンセントに接続してください。接続すると、電源LEDが赤色に点灯します。
2. プロジェクターの上面またはリモコンの「⏻」を押して、プロジェクターの電源を入れてください。



起動中、電源 LED は白色に点滅し、通常動作中、電源 LED は白色に点灯します。

注記： 電源モード (スタンバイ) が「エコ」に設定されている場合は、リモコンからの赤外線信号を使用して、プロジェクター の電源を入れてください。電源モード (スタンバイ) が「SmartHome」に設定されている場合は、リモコンからのBluetooth 信号を使用して、プロジェクターの電源を入れてください。

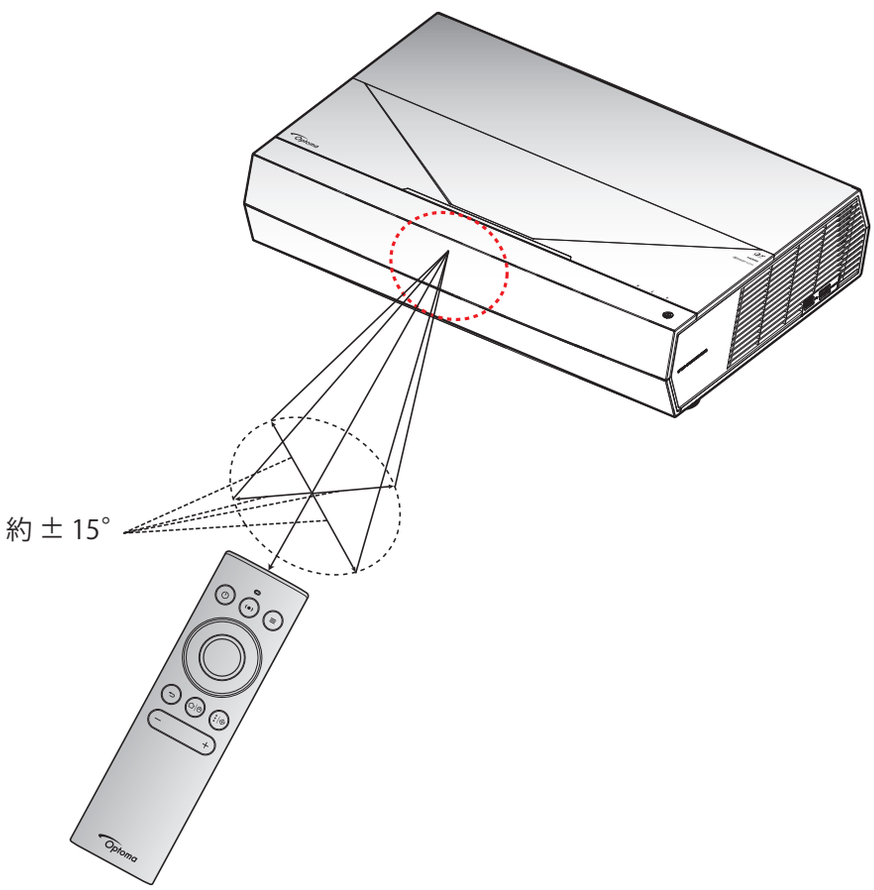
プロジェクターを使用する

有効範囲

赤外線 (IR) リモコンセンサーはプロジェクターの前面にあります。プロジェクターの IR リモコンセンサーに対して ±15 度以内の角度でリモコンを向けると正常に動作します。リモコンとセンサーの間の距離は 7 メートル (22 フィート) 以内にする必要があります。
また、投写画像に向けることにより、リモコンを操作できます。

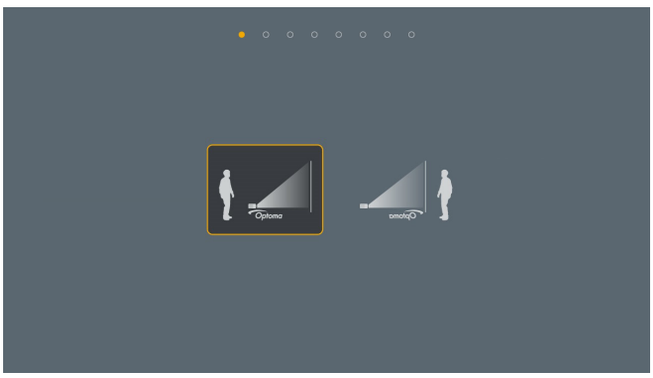
注記： *IR センサーに対して直接リモコンを向ける場合 (0 度の角度)、リモコンとセンサーの間の距離が、10 メートル (32 フィート) を超えないようにしてください。*

- リモコンとプロジェクターの IR センサーの間に赤外線ビームを遮断するような障害物がないことを確認します。
- リモコンの IR 伝送装置に太陽や蛍光灯の光を直接当てないでください。
- リモコンは蛍光灯から 2 メートル以上離さないと誤作動が起こることがあります。
- リモコンがインバータータイプの蛍光灯に近いと、動作しないことがあります。
- リモコンとプロジェクターの距離が近いと、リモコンが動作しないことがあります。
- Bluetooth ペアリングの場合は、プロジェクターの電源を入れた後、下図の赤色の円でマーク付けした領域にリモコンを向けてください。
- スタンバイ電源モードが「エコ」に設定されている場合は、プロジェクターの電源を入れた後、IR レシーバーにリモコンを直接向けてください。



プロジェクターを使用する

初めてプロジェクターの電源を入れると、投写方向、使用言語、ネットワーク設定を含む初期設定を行うように求められます。***設定完了!***画面が表示されたら、これはプロジェクターが使用できる状態であることを示します。



[投影画面]

[言語画面]

[リモートペアリング画面]

[リモートペアリング画面 (続き)]

[ネットワーク画面]

[日時画面]

[規制画面]

[Optoma Connect 画面]

プロジェクターを使用する

電源オフ

1. プロジェクターの上面またはリモコンの「⏻」ボタンを押して、プロジェクターの電源を切ってください。次のメッセージが表示されます。

2. 冷却ファンは約 10 秒間作動し続けて冷却を行うと、電源 LED が白色に点滅します。電源 LED が赤色に点灯すると、プロジェクターはスタンバイモードに入っています。プロジェクターの電源を再び入れる場合、冷却サイクルを終了し、スタンバイモードに入るまで待つ必要があります。プロジェクターがスタンバイモードに入ったら、プロジェクターの上面またはリモコンの「⏻」ボタンを押すだけで、プロジェクターの電源が再び入ります。
3. 電源コードをコンセントおよびプロジェクターから抜きます。

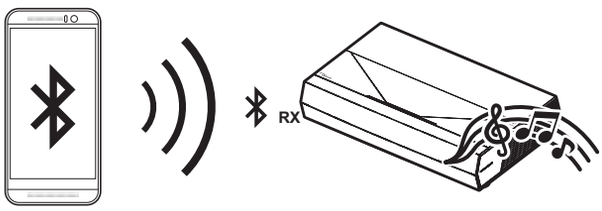
注記：

- *電源を切った直後にプロジェクターの電源を入れる行為は推奨されません。*
- *デフォルトでは、プロジェクターは、20 分間使用されない場合、自動的に電源が切れます。アイドル時間の長さを「自動パワーオフタイマー(分)」メニュー(「System 設定 → 消費電力」) で変更できます。代わりに、プロジェクターをスリープモードに移行させたい場合は、自動電源オフを無効にして、スリープ時間間隔 (「System 設定 → 消費電力 →スリープタイマー (分)」) で設定してください。*
- *プロジェクターの電源を直ちにきるには、プロジェクターの上面またはリモコンの「⏻」ボタンを 2 回押してください。*

プロジェクターを使用する

プロジェクターをワイヤレススピーカーとして使用する

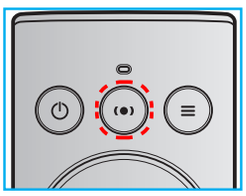
内蔵 Bluetooth モジュールにより、スマートフォン、タブレット、PC または他の Bluetooth 対応デバイスから音楽をワイヤレスで聴くことができます。



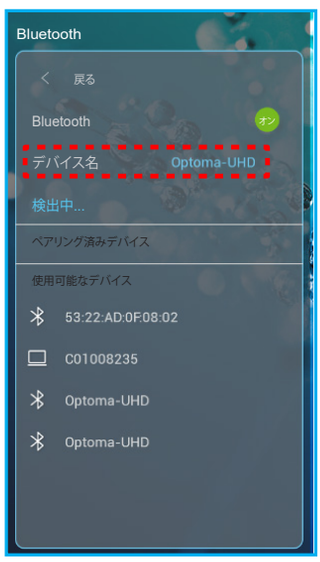
注記： *プロジェクターと Bluetooth デバイスは、1回だけペアリングする必要があります。ペアリング後、各電源オンサイクル時に、プロジェクターは自動的に Bluetooth デバイスに接続します。Bluetooth デバイスに電源が入っていない場合、プロジェクターはそのデバイスに接続しません。*

Bluetooth デバイスとプロジェクターをペアリングする

1. プロジェクターのスタンバイ電源モードを「Smart Home」に「*System* 設定 → 消費電力 メニュー → 電源モード(スタンバイ)」で設定してください。
2. リモコンの「(●)」ボタンを短く押して、プロジェクターをオーディオモードに切り替えてください。



3. Bluetooth デバイスをプロジェクターにペアリング中、プロジェクターの Bluetooth LED インジケーターは白色に点滅します。
4. Bluetooth デバイスで、**設定** をタップして、Bluetooth機能を有効にしてください。次に、プロジェクターを検索します。



5. プロジェクター名をタップして、ペアリングを開始してください。
6. ペアリングに成功すると、プロジェクターは、白色光で表示されます。
7. Bluetooth デバイスで、再生する曲を参照・選択します。
   リモコンの「**−**」および「**+**」ボタンを使用して、音量レベルを調整します。

注記：

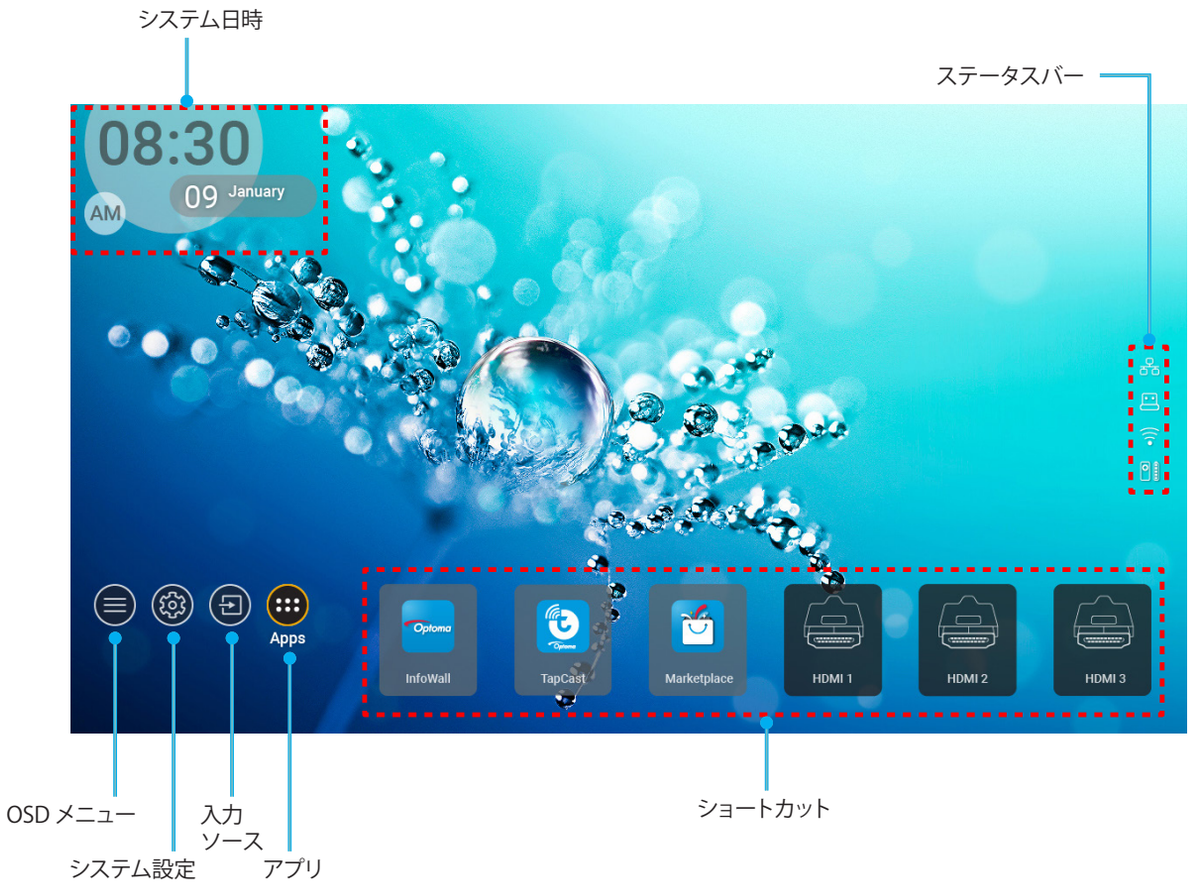
- *プロジェクターは、最大 10 台のデバイスのペアリング情報を保存できます。一度に 接続できる Bluetooth デバイスは1 台のみです。*
- *Bluetooth デバイスとプロジェクターの間の距離が、10 メートル以下であることを確認してください。*
- *オーディオモードを終了する場合は電源をオフにしてください。*
- *オーディオモードからホーム画面に戻る場合は、プロジェクターを再起動してください。*

プロジェクターを使用する

ホーム画面の概要

プロジェクターを起動するたびにホーム画面が表示されます。システム日時、システムステータス、OSD メニューにアクセスするためのアイコン、プロジェクター設定メニュー、アプリ、入力ソースなどが含まれます。

ホーム画面をナビゲートするには、リモコンのボタンを使用してください。
ユーザーインターフェイス内の位置に関係なく、リモコンの「⌂|⊖」を押して、いつでもホーム画面に戻ることができます。



注記： *例えば、上図の「アプリ」のように、選択されたメニューまたは項目がオレンジ色にハイライト表示されます。*

システム日時

プロジェクターがネットワークに接続されると、ホーム画面に日時が表示されます。デフォルト設定は、10:00am、2019/01/01 です。24 時フォーマットがオフの場合のみ、AM/PM が表示されます。

日時パラメータを変更するには、画面の対応するフィールドを選択してください。日時設定ページが自動的に開きます。

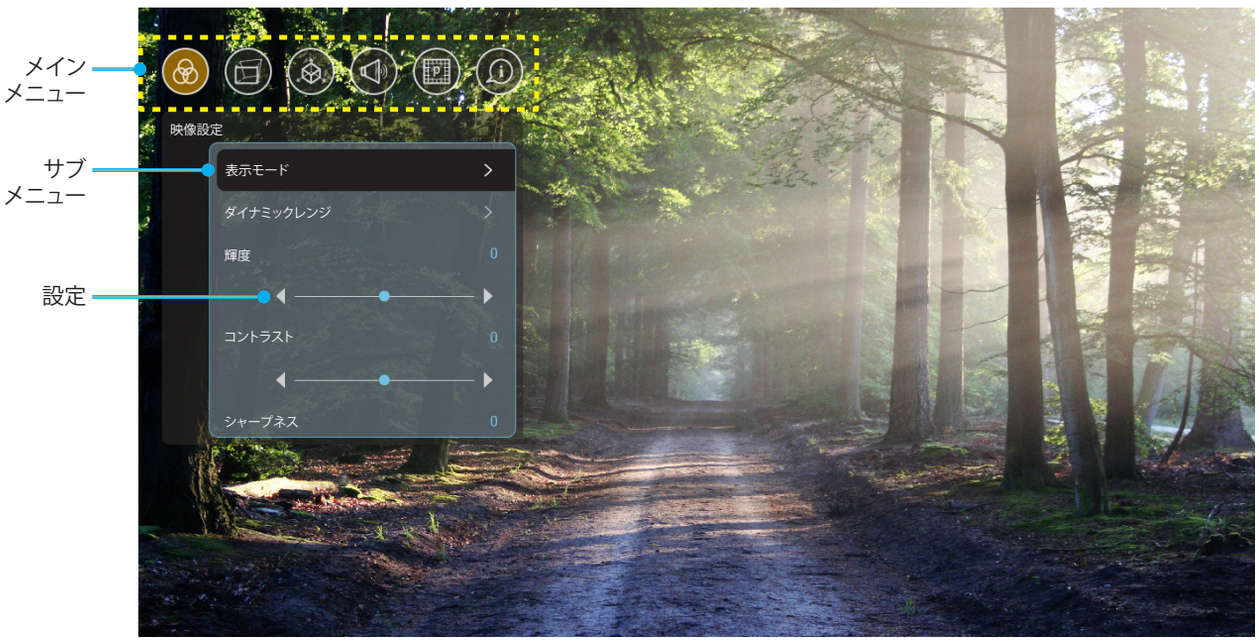
プロジェクターを使用する

プロジェクター設定メニュー (OSD)

リモコンまたはホーム画面の「☰」を押して、OSD メニュー「⊜」を選択して、プロジェクター情報や、

イメージ、ディスプレイ、3D、オーディオに関連するさまざまな設定をしてください。

一般的なメニューのナビゲーション



1. OSD が表示されたら、上および下のナビゲーションキーを使って、メインメニューの任意の項目を選択してください。特定のページを選択している間に、「**OK**」を押して、サブメニューに入ってください。
2. 「**左**」および「**右**」ボタンを押して、目的のメニュー項目を選択してください。次に、「**OK**」を押して、サブメニューを開いてください。
3. 「**上**」および「**下**」ボタンを押して、サブメニューで、目的の項目を選択してください。
4. 「**OK**」ボタンを押して、設定を有効または無効にし、「**左**」および「**右**」ボタンを押して、値を調整してください。
5. サブメニューから次に調整する目を選択し、上記手順と同様に変更してください。
6. 終了するには、「⮌」を押してください (必要に応じて、繰り返してください)。オンスクリーンメニューが終了し、プロジェクターは自動的に新しい設定を保存します。

OSD メニューツリー

注記： *システムと同じ言語で、OSD メニューが表示されます。必要に応じて、システム設定メニューで、言語を変更してください。*

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	値
映像設定	ディスプレイモード			シネマ
				HDR
				HLG
				HDR SIM.
				ゲーム
				リファレンス
				ブライト
				ユーザー
				3D
				ISF Day
				ISF Night
				ISF HDR
				ISF HLG
				ISF 3D
	ダイナミックレンジ	HDR/HLG		自動 [デフォルト]
				Off
		HDRモード		ブライト
				標準
				フィルム
				詳細
		HLG ピクチャーモード		ブライト
				標準
				フィルム
				詳細
	輝度			-50 ~ 50
	コントラスト			-50 ~ 50
	シャープネス			1 ~ 15
	色			-50 ~ 50
	色あい			-50 ~ 50
	ガンマ			フィルム
				ビデオ
				グラフィック
				標準(2.2)
				1.8
				2.0
				2.4
	色彩設定	BrilliantColor™		1 ~ 10
		色温度		Warm
				標準
				Cool
				Cold

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	値
映像設定	色設定	カラーマッチング	色	R [デフォルト]
				G
				B
				C
				Y
				M
				W
			色合い	-50 ～ +50 [デフォルト:0]
			彩度	-50 ～ +50 [デフォルト:0]
			ゲイン	-50 ～ +50 [デフォルト:0]
			リセット	キャンセル [デフォルト]
				全てリセット
		RGBゲイン/バイアス	赤ゲイン	-50 ～ +50
			緑ゲイン	-50 ～ +50
			青ゲイン	-50 ～ +50
			赤バイアス	-50 ～ +50
			緑バイアス	-50 ～ +50
			青バイアス	-50 ～ +50
			リセット	キャンセル [デフォルト]
				全てリセット
	ブライトネスモード			ダイナミックブラック1
				ダイナミックブラック2
				ダイナミックブラック3
				消費電力 (電源 = 100%/95%/90%/85%/80%/75%/70%/65%/60%/55%/50%)
	Pure Motion			Off
				1
				2
				3
	リセット			キャンセル
				全てリセット
ディスプレイ	ゲーミングモード			OFF [デフォルト]
				ON
	幾何補正	ワープ制御		OFF [デフォルト]
				ON
		ワープ校正		「**上**」/「**下**」/「**左**」/「**右**」を押して、ポイントに焦点を合わせ、「**OK**」を押して、ポイントを選択してください。次に、「**上**」/「**下**」/「**左**」/「**右**」を押して、選択したポイントに位置をシフトさせてください。[デフォルト: 左上]。

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	値
ディスプレイ	幾何補正	移動インクリメント		0.5
				1
				4 [デフォルト]
				16
				32
				64
		オプション	ワープ番号	2x2
				3x3 [デフォルト]
				5x5
				9x9
			ワープインナー	Off [デフォルト]
				On
			カーソル色	Green [デフォルト]
				Magenta
				Red
				Cyan
			グリッド色	Green [デフォルト]
				Magenta
				Red
				Cyan
		リセット		キャンセル
				全てリセット
	アスペクト比			4:3
				16:9
				自動
	フレーム遅延			0
				1
				2
	HDMI 設定	EDID	EDIDリマインダー	ON [デフォルト]
				OFF
			HDMI 1 EDID	1.4
				2.0 [デフォルト]
			HDMI 2 EDID	1.4
				2.0 [デフォルト]
			HDMI 3 EDID	1.4 [デフォルト]
				2.0
		EQ	HDMI 1 EQ	自動 [デフォルト: オン]
			(08 - グループ)	-16 ～ -1、1 ～ 16 [デフォルト: 1]
			HDMI 2 EQ	自動 [デフォルト: オン]
			(08 - グループ)	-16 ～ -1、1 ～ 16 [デフォルト: 1]
			HDMI 3 EQ	自動 [デフォルト: オン]
			(08 - グループ)	-16 ～ -1、1 ～ 16 [デフォルト: 1]

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	値
ディスプレイ	メニュー設定	メニュー位置		左上 [デフォルト]
				右上
				左下
				右下
				中央
		メニュータイマー		Off
				5 sec
				10 sec [デフォルト]
3D	3D技術			DLP-Link [デフォルト]
				3D-Sync
	3D映像フォーマット			自動 [デフォルト]
				SBS
				上部と下部
				フレームシーケンシャル
				フレームパッキング
	3D同期反転			ON
				OFF [デフォルト]
	リセット			キャンセル
				全てリセット
オーディオ	内蔵スピーカー			OFF
				ON [デフォルト]
	ミュート			OFF [デフォルト]
				ON
	音量			0 ～ 100 [デフォルト：25]
	デジタル出力			Bitstream
				PCM
				自動 [デフォルト]
	音響効果			シアター
				音楽
				スポーツ
				夜間
				ゲーム
	内蔵スピーカーの遅延 (ms)			-50 ～ +50 (10 msの増分) [デフォルト：0]
	デジタル出力の遅延 (ms)			-50 ～ +50 (10 msの増分) [デフォルト：0]

プロジェクターを使用する

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	値
設定	投影モード			フロント [デフォルト]
				リア
				天吊り-フロント
				天吊り-リア
	テストパターン			Green Grid
				Magenta Grid
				White Grid
				White
				Yellowボーダー
	高地モード			OFF [デフォルト]
				ON
	フォーカス			「**左**」または「**右**」を押してください
	アイプロテクションセンサー			Off
				On [デフォルト]
インフォメーション	ディスプレイ	ディスプレイモード		
		ブライトネスモード		
	ハードウェア	電源モード(スタンバイ)		
		高地モード		
		光源時間		
		ソース		
	入力ソース	解像度		
		リフレッシュレート		
		色深度		
		カラーフォーマット		
		規制		
	(その他)について	シリアル番号		
		FWバージョン	システム	
			MCU	
			DDP	

注記： *機能は、モデル定義により異なります。*

プロジェクターを使用する

映像設定メニュー

ディスプレイモード

さまざまな映像タイプに合わせて、いくつかのプリセット設定が用意されています。

- **シネマ：** 映画を見るために最適な色を提供します。
- **HDR：**ハイダイナミックレンジ (HDR) コンテンツを復号し、表示し、REC.2020 色範囲で濃い黒、明るい白、映画のように鮮やかな色を再現します。このモードは、HDR が ON に設定されている場合、自動的に有効になります (HDR コンテンツがプロジェクターに送信されます – 4K UHD Blu-ray、1080p/4K UHD HDRゲーム、4K UHD ストリーミングビデオ)。HDR モードが有効なとき、他の表示モード (映画や参照など) は選択できません。HDR は、他の表示モードの色パフォーマンスを超える、非常に精密な色を再現するからです。
- **HLG：**Hybrid Log コンテンツを含む HDR シアターの場合。
- **HDR SIM.：**ハイダイナミックレンジ (HDR) をシミュレートし、非 HDR コンテンツの画質を上げます。このモードを選択すると、非 HDR コンテンツ (720p および 1080p ブロードキャスト/ケーブル TV、1080p Blu-ray、非 HDR ゲームなど) のガンマ、コントラスト、彩度が高まります。このモードは HDR 以外のコンテンツでのみ利用できます。
- **ゲーム：**ビデオゲームを楽しむために、このモードを選択して、明るさを増やし、応答時間レベルを上げます。
- **リファレンス：**このモードは、映画監督が意図したように、画像をできるだけアップにして再生することを目的としています。カラー、色温度、コントラスト、γ 設定はすべて標準の参照レベルに設定されます。動画を見るにはこのモードを選択します。
- **ブライト：**PC入力に対する最大輝度。
- **ユーザー：**ユーザー設定を保存します。
- **3D：**3D 効果を体験するには、3D 眼鏡を用意する必要があります。Blu-ray 3D DVD プレーヤーがインスト ールされていることを確認します。
- **ISF Day：**画像を完ぺきに較正できるようにISF昼モードで、また高いピクチャー品質で最適化します。
- **ISF Night：**画像を完ぺきに較正できるようにISF夜モードで、また高いピクチャー品質で最適化します。
- **ISF HDR：**画像を完ぺきに較正できるように ISF HDR モードで、また高いピクチャー品質で最適化します。
- **ISF HLG：**画像を完ぺきに較正できるように ISF HLG モードで、また高いピクチャー品質で最適化します。
- **ISF 3D：**画像を完ぺきに較正できるように ISF 3D モードで、また高いピクチャー品質で最適化します。

注記： *ISF 表示モードの調整方法については、お近くの販売店にお問い合わせください。*

ダイナミックレンジ

4K Blu-ray プレーヤーおよびストリーミングデバイスからビデオを表示するとき、高ダイナミック範囲 (HDR)/ Hybrid Log Gamma (HLG) 設定およびその効果を構成します。

➤ **HDR/HLG**

- **自動：**HDR/HLG 信号を自動検出します。
- **Off：**HDR/HLG 処理をオフに切り替えます。オフに設定すると、プロジェクターはHDR/HLG コンテンツを復号しません。

➤ **HDRモード/HLG ピクチャーモード**

- **ブライト：**このモードを選択すると、より飽和した色が再現されます。
- **標準：**このモードを選択すると、色調の暖かさと冷たさのバランスが取れた、自然な色を再現します。
- **フィルム：**このモードを選択すると、細部が改善され、画像が鮮明になります。
- **詳細：**このモードを選択すると、暗いシーンで細部が改善され、画像が鮮明になります。

注記：

- ***HDR ピクチャーモード**は、入力信号が HDR であるとき、HDR レンダリング効果を調整します。同様に、**HLG ピクチャーモード**は、入力信号が HLG であるとき、HLG レンダリング効果を調整します。*
- ***HDR ピクチャーモード**オプションは、入力信号が HDR のときのみ利用可能で、**HLG ピクチャーモード**オプションはグレー表示されます。また、逆も同様です。*

輝度

画像の輝度を調整します。

コントラスト

コントラストは、画像や画像の最暗部 (黒) と最明部 (白) の差の度合いを調整します。

シャープネス

画像のシャープネスを調整します。

色

ビデオ画像を、白黒から完全飽和色まで調整します。

色あい

赤と緑のカラーバランスを調整します。

ガンマ

γカーブタイプを設定します。初期セットアップと微調整が完了したら、γ調整ステップを利用して画像出力を最適化します。

- **フィルム：**ホーム シアター用。
- **ビデオ：**ビデオまたは TV ソース用。
- **グラフィック：**PC/フォトソース用。
- **標準(2.2)：**標準化された設定用。
- **1.8 / 2.0 / 2.4：**特定の PC/フォトソース用。

色彩設定

色設定を行います。

- **BrilliantColor™：**新しいカラー処理アルゴリズムとエンハンスメントを利用して高い輝度を可能にしながら、画像に真の鮮やかなカラーを実現します。
- **色温度：**Warm、標準、Cool、またはColdから色温度を選択します。
- **カラーマッチング：**R (赤)、G (緑)、B (青)、C (シアン)、Y (黄)、M (マゼンダ)、または、W (白) 色の色あい、彩度およびゲインを調整します。

  注記： *[リセット] を選択して、カラーマッチング設定をリセットします。*
- **RGBゲイン/バイアス：**この設定でイメージの輝度 (ゲイン) とコントラスト (バイアス) を構成できます。

  注記： *[リセット] を選択して、RGB ゲイン/バイアス設定をリセットします。*

ブライトネスモード

ブライトネスモード設定を選択します。

Pure Motion

ピュアモーション設定を選択して、24fps ビデオフィルムをよりスムーズにして、モーションブラーを補償します。
ピュアモーションを無効にするには、「Off」を選択してください。

リセット

映像設定を工場出荷時の初期設定に戻します。

ディスプレイメニュー

ゲーミングモード

この機能を有効にして、ゲーム中の応答時間 (入力遅延) を低減します。

注記： *この機能が有効であるとき、**ジオメトリ補正**、**ピュアモーション**、**フレーム遅延**、**3D** オプションはグレー表示されます。*

幾何補正

イメージの投影を調整し、特定の投影表面または形状に一致させます。

- **ワープ制御：**「ON」に設定して、ワープ設定を使用して、投影イメージをカスタマイズするか、「OFF」に設定して、ネイティブ投影イメージを投影してください。
- **ワープ校正**：「**上**」、「**下**」、「**左**」、「**右**」を押して、ポイントに焦点を合わせてください。「**OK**」を押して、ポイントを選択してください。次に、「**上**」、「**下**」、「**左**」、「**右**」を押して、選択したポイントに位置をシフトさせてください。「↩」を押して、前ページに戻ります。
- **移動インクリメント：**ワープに移動インクリメントを設定します。
- **オプション：**「ワープ番号」、「ワープインナー」などのその他のワープ設定を構成し、カーソルおよびグリッドに対する色を設定します。
- **リセット：**ジオメトリ補正メニューのすべての設定を工場出荷時デフォルト設定にリセットします。

アスペクト比

表示される画像のアスペクト比を選択します。

- **4:3：**このフォーマットは、4:3 入力ソース用です。
- **16:9：**ワイド スクリーン テレビのために用意される高画質の HDTV や DVD のような 16:9 入力用です。
- **自動 ：**適切なディスプレイフォーマットを自動的に選択します。

4K UHD スケーリングテーブル：

16 : 9 画面	480i/p	576i/p	720p	1080i/p	2160p
4x3	2880 x 2160 に調整します。				
16x9	3840 x 2160 に調整します。				
Auto	- ソースが 4:3 である場合、画面タイプは自動的に 2880 x 2160 にサイズ変更されます。 - ソースが 16:9 である場合、画面タイプは自動的に 3840 x 2160 にサイズ変更されます。 - ソースが 15:9 である場合、画面タイプは自動的に 3600 x 2160 にサイズ変更されます。 - ソースが 16:10 である場合、画面タイプは自動的に 3456 x 2160 にサイズ変更されます。				

自動マッピングルール：

	入力解像度		自動/拡大縮小	
	水平解像度	垂直解像度	3840	2160
4:3	640	480	2880	2160
	800	600	2880	2160
	1024	768	2880	2160
	1280	1024	2880	2160
	1400	1050	2880	2160
	1600	1200	2880	2160
ワイド ラップトップ	1280	720	3840	2160
	1280	768	3600	2160
	1280	800	3456	2160
SDTV	720	576	2700	2160
	720	480	3240	2160
HDTV	1280	720	3840	2160
	1920	1080	3840	2160

フレーム遅延

投影遅延を設定します。

HDMI 設定

HDMI 設定を行います。

- **EDID**: 有効にすると、入力ソース HDMI に変更するとき、警告メッセージが表示されます。また、HDMI EDID オプションが表示されます。
  - 1080p ソース (Xbox 360、Cable Box、Satellite Box など) を使用するときは、HDMI 1.4 EDID を選択してください。
  - 1080p HDR ソース (Xbox One S または PS4 など) および 4K HDR ソース (4K HDR Blu-ray プレーヤー、Roku Ultra 4K、SHIELD TV、Xbox One X および PS4 Pro など) の場合は、HDMI 2.0 EDIDを選択してください。

  注記： *HDMI 1.4 ソースで、HDMI 2.0 EDID を使用すると、色が異常になったり、カラーバンド付けが発生する可能性があります。これが発生した場合は、ソースが接続されるポートを EDID から 2.0 に変更してください。*
- **EQ**: 長い HDMI ケーブルを使用するとき、HDMI EQ パラメータを調整して、信号の品質を改善します。

メニュー設定

画面上のメニュー位置を設定し、メニュータイマーを設定します。

- **メニュー位置：**スクリーン上に表示されるメニューの位置を選択します。
- **メニュータイマー：** OSD メニューが画面上に表示される時間を設定します。

プロジェクターを使用する

3D メニュー

3D技術

3D 技術パラメータを「DLP-Link」 または「3D-Sync」に設定してください。

3D映像フォーマット

このオプションを使って、適切な 3D フォーマットのコンテンツを選択します。

- **自動**：3D 識別信号を検出すると、3D 映像フォーマットが自動的に選択されます。
- **SBS**：[サイドバイサイド] フォーマットで3D信号を表示します。
- **上部と下部**：3D 信号を [Top and Bottom] フォーマットで表示します。
- **フレームシーケンシャル**：3D 信号を [Frame Sequential] フォーマットで表示します。フレームシーケンシャルエンコーディング方法は、PC コンテンツで一般的に使用されます。
- **フレームパッキング**：3D 信号を [Frame Packing] フォーマットで表示します。Frame Packing エンコーディング方法は、主に 1080p Blu-ray で使用されます。

注記： *次の PC 3D タイミングは、**フレームシーケンシャル**のみをサポートします: 1920x1080 @ 60Hz、1920x1080 @ 120Hz、 1280x800 @ 120Hz、 1280x720 @ 120Hz、 1024x768 @ 120Hz*

3D同期反転

このオプションを使って、3D 同期反転機能を有効/無効にします。

リセット

3D 設定を工場出荷時デフォルト設定に戻します。

注記： *次の状況では、3D 機能は利用できません：4K、HDR、HLG、信号なし。*

オーディオメニュー

内蔵スピーカー

内蔵スピーカーの [オン] または [オフ] を切り替えるには、[ON] または [OFF] を選択します。

ミュート

このオプションを使って、一時的に音声をオフに切り替えます。

- **ON:**「ON」を選択して、ミュートをオンに切り替えます。
- **OFF:**「OFF」を選択して、ミュートをオフに切り替えます。

注記： *[ミュート] 機能は、内蔵および外付けスピーカーの音量に影響を与えます。*

音量

オーディオ音量レベルを調整します。

注記： *音声出力が、HDMI ARC または S/PDIF を経由する場合、音量を調整できません。*

デジタル出力

「Bitstream」、「PCM」、「自動」の間で、デジタル音声出力の形式を選択してください。

音響効果

「シアター」、「音楽」、「スポーツ」、「夜間」、「ゲーム」の間で、選択してください。

内蔵スピーカーの遅延（ｍｓ）

内蔵スピーカーの遅延（ｍｓ）をミリ秒単位で設定してください。

デジタル出力の遅延

デジタル出力の遅延をミリ秒単位で設定してください。

設定メニュー

投影モード

お好みの投影フロントおよびリアから選択してください。15 ページ を参照してください。

テストパターン

「Green Grid」、「Magenta Grid」、「White Grid」、「White」、「Yellowボーダー」から、テストパターンを選択してください。

「⮌」を押して、テストパターンメニューを終了します。

高地モード

[ON] が選択されると、ファンがより高速に回転します。この機能は、高度が高く、空気の濃度が低い環境に便利です。

フォーカス

リモコンの「**左**」または「**右**」ボタンを押して、投影イメージの焦点を合わせてください。

アイプロテクションセンサー

アイプロテクションセンサーを有効にすると、物体がプロジェクターの光線に非常に近いとき、レンズが一時的にオフになります。

情報メニュー

以下のプロジェクター情報を表示します。

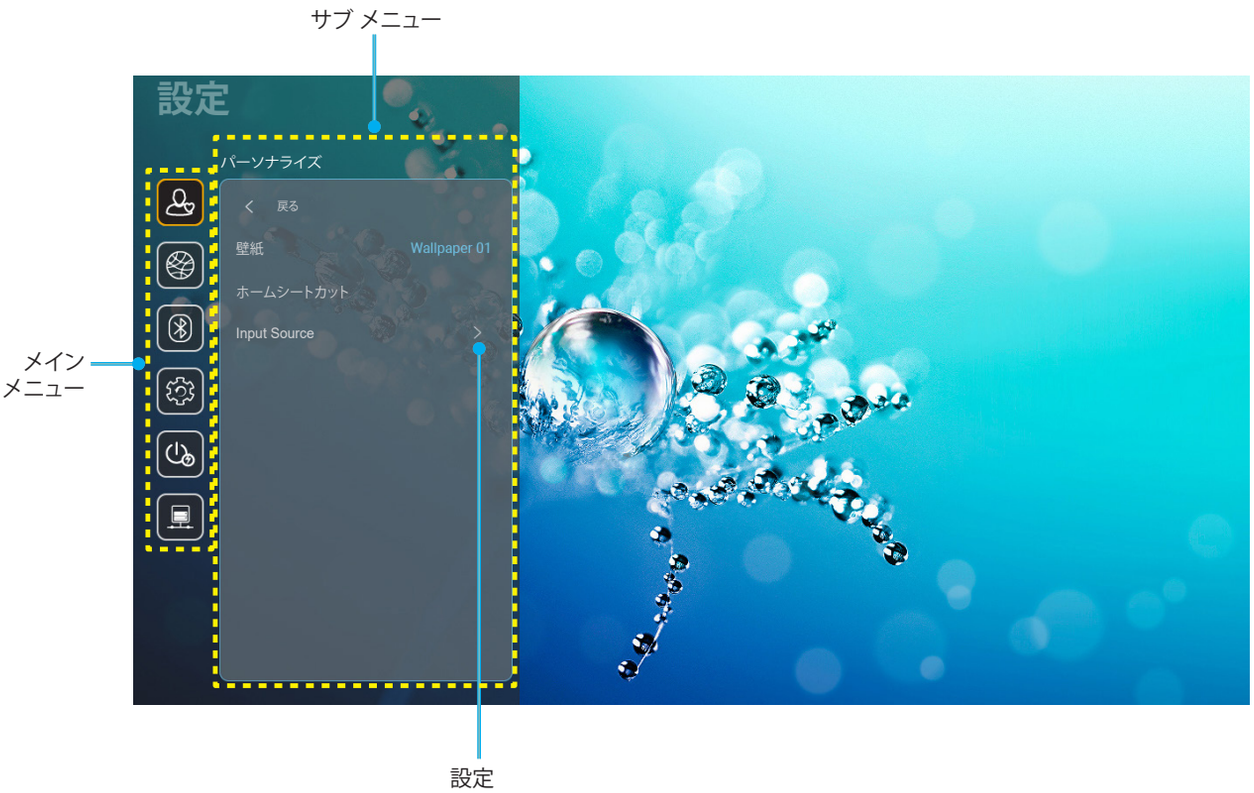
- ディスプレイ
- ハードウェア
- 入力ソース
- (その他)について

プロジェクターを使用する

システム設定メニュー

ホーム画面で、システム設定メニュー「⚙」を選択し、さまざまなシステム設定を構成してください。

一般的なメニューのナビゲーション



1. システム設定メニューが表示されたら、上および下のナビゲーションキーを使って、メインメニューの任意の項目を選択してください。特定ページで選択している間に、リモコンの「**OK**」または「**右**」ボタンを押して、サブメニューに入ってください。
2. 「**左**」および「**右**」ボタンを押して、目的のメニュー項目を選択してください。次に、「**OK**」を押して、サブメニューを開いてください。
3. 「**上**」および「**下**」ボタンを押して、サブメニューで、目的の項目を選択してください。
4. 「**OK**」または「**右**」ボタンを押して、選択したサブメニュー項目設定にアクセスしてください。
5. 「**上**」、「**下**」、「**左**」、「**右**」ボタンを押して、設定を選択するか、「**左**」および「**右**」ボタンを押して、値を調整してください (必要に応じて)。
6. 「OK」を押して、設定を確認してください。
7. サブメニューから次に調整する目を選択し、上記手順と同様に変更してください。
8. 終了するには、「⮌」を押してください (必要に応じて、繰り返してください)。設定メニューが終了し、プロジェクターは自動的に新しい設定を保存します。

システム設定メニューツリー

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	値
パーソナライズ	壁紙	Optoma スタイル…		
	Screen Saver	Screen Saver		ON
				OFF
		Start after		3mins, 5mins, 10mins, 15mins
	ホームへのシートカット	ショートカット 1		アプリ/入力ソース
		ショートカット 2		アプリ/入力ソース
		ショートカット 3		アプリ/入力ソース
		ショートカット 4		アプリ/入力ソース
		ショートカット 5		アプリ/入力ソース
		ショートカット 6		アプリ/入力ソース
	入力ソース	HDMI/USB Disk		通知
				ソースの自動切替 [デフォルト]
				なし
		入力名		HDMI1
				HDMI2
				HDMI3
ネットワーク	ワイヤレス	Wi-Fi		OFF
				ON [デフォルト]
		利用できるネットワーク (Wi-Fi がオンであるとき)	パスワードを入力してください。 [Wi-Fi 名] (パスワードを入力するとき)	[ポップアップダイアログ] - タイトル: パスワードを入力してください。 [Wi-Fi名] - 字幕: パスワード - 入力: (テキストの入力) - チェックボックス: パスワードを表示 - ボタン: "**キャンセル**"/ "**OK**"
			インターネット接続	
			IPアドレス	
			MACアドレス	
			信号強度	
			プロキシ設定	なし
				マニュアル [ポップアップダイアログ] Title: 正しいホスト名を入力します。 字幕: プロキシホスト名 入力ヒント: proxy.example@com ボタン: "**キャンセル**"/ "**OK**"
			IP設定	DHCP
				静的 [ポップアップダイアログ] Title: 正しい IP アドレスを入力します。 字幕: IPアドレス 入力ヒント: 192.168.1.128 ボタン: "**キャンセル**"/ "**OK**"
			キャンセル	
			消去	[ポップアップダイアログ] ヒント: [Wi-Fi 名] タイトル: ネットワークを消去 コンテンツ: お使いのデバイスは、このWi-Fiネットワークに参加していません。 ボタン: "**キャンセル**"/ "**OK**"

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	値	
ネットワーク	ワイヤレス	その他のオプション	WPSを介して接続		
			WPSを介して接続（PINを入力）		
			新しいネットワークを追加	[ポップアップダイアログ] タイトル：Wi-Fiネットワークの名前を入力する 入力：(テキストの入力) ボタン：“**キャンセル**”/ “**OK**”	
				[ポップアップダイアログ] コンテンツ：セキュリティのタイプ ボタン：なし, WEP, WPA/WPA2 PSK, 802.1x EAP	
			ポータブルホットスポット	ポータブル Wi-Fiホットスポット	OFF
					ON
				ネットワーク名	[ポップアップダイアログ] タイトル：ネットワークの名前を変更する 入力：(テキストの入力) ボタン：“**キャンセル**”/ ”**OK**”
				セキュリティ	[ポップアップダイアログ] タイトル：セキュリティのタイプ ボタン：なし, WPA2 PSK
				パスワード	[ポップアップダイアログ] タイトル：パスワード変更 入力：(テキストの入力) 説明：パスワードは最小8文字にしてください。 チェックボックス：パスワードを表示 ボタン：“**キャンセル**”/ ”**OK**”
	イーサネット	Status			(読み取り専用)
		IPアドレス			(読み取り専用)
		MACアドレス			(読み取り専用)
		プロキシ設定	なし		
			マニュアル	プロキシホスト名	
				Proxy port	
				Bypass proxy for	
		IP設定	DHCP		
			静的	IPアドレス	
				ゲートウェイ	
				ネットワークプレフィックス長	
				DNS 1	
				DNS 2	
		リセット		キャンセル	
				リセット	
Bluetooth	Bluetooth			ON [デフォルト]	
				OFF	
	デバイス名 (BT がオンのとき)			[ポップアップダイアログ] タイトル：ペアリング済みデバイス名を変更する 入力：(テキストの入力) ボタン：“**キャンセル**”/”**OK**” [デフォルト：Optoma-UHD]	

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	値
Bluetooth	もう一度スキャンする (BT がオンのとき)			
	ペアリング済みデバイス(BT がオンのとき)	デバイス名		[ポップアップダイアログ] タイトル: ペアリング済みデバイス名を変更する 入力: (テキストの入力) ボタン: "**キャンセル**"/"**OK**"
		(カスタマイズされた設定)		
		キャンセル		
		消去		[ポップアップダイアログ] ヒント: [Bluetooth 名] Title: デバイスを消去ボタン: "**キャンセル**"/"**OK**"
		(デバイスが接続されていないとき)		[ポップアップダイアログ] コンテンツ: 現在デバイスは使用できません。 ボタン: "**キャンセル**"/ "**OK**"/ "**消去**"
	使用可能なデバイス(BT がオンのとき)			
システム	言語			Deutsch
				English [デフォルト]
				Español
				Français
				Italiano
				Português
				日本語
				한국어
				Русский
				繁體中文
				简体中文
	キーボード			
	日時	タイムゾーンを設定		-12:00, -11:00, -10:00, -09:30, -09:00, -08:00, -07:00, -06:00, -05:00, -04:00, -03:30, -03:00, -02:00, -01:00, 00:00, +01:00, +02:00, +03:00, +03:30, +04:00, +04:30, +05:00, +05:30, +05:45, +06:00, +06:30, +07:00, +08:00, +08:30, +8:45, +09:00, +09:30, +10:00, +10:30, +11:00, +12:00, +12:45, +13:00, +14:00
		サマータイム		ON
				OFF [デフォルト]
		24時間表示を使用する		ON
				OFF [デフォルト]
	システム更新			
	内部ストレージ			
	法的	利用規約および条件		
		プライバシーポリシー		
		クッキーポリシー		

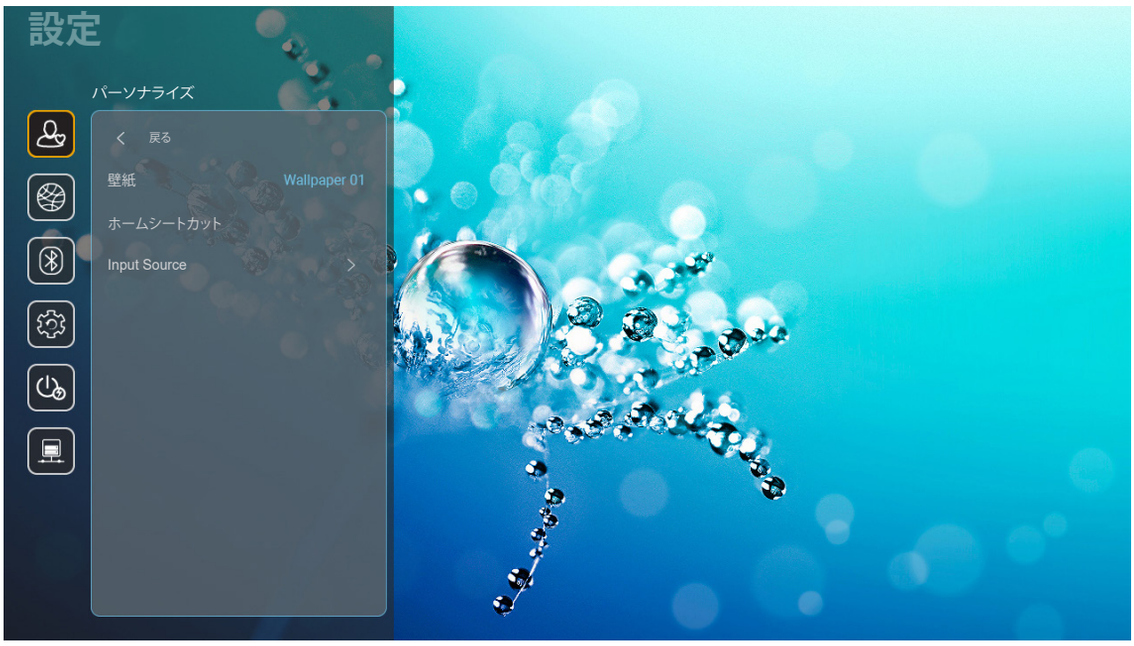
プロジェクターを使用する

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	値
システム	リセット			[ポップアップダイアログ] コンテンツ:　すべての設定を初期状態へリセットしますか?設定内容とデータが消去されます。 ボタン: "**キャンセル**"/ "**すべての設定をリセット**" / "**初期状態にリセット**"
消費電力	電源検知オートパワーオン			OFF [デフォルト]
				ON
	自動パワーオフタイマー(分)			0 ～ 180 (5 分の増分) [デフォルト: 20]
	スリープタイマー (分)			Off ～ 990 (30 分の増分) [デフォルト：Off]
	電源モード(スタンバイ)			Smart Home
				エコ [デフォルト]
コントロール	LANコントロール	IoT		OFF
				ON [デフォルト]
	HDMIリンク設定	電源オン設定		OFF
				ON [デフォルト]
		電源オフ設定		OFF
				ON [デフォルト]

注記： *機能は、モデル定義により異なります。*

プロジェクターを使用する

メニューのパーソナライズ



ホームへのシートカット

各入力ソースで、開いたすべてのアプリのホーム画面のショートカットを確認してください。「自動」オプションの場合を除き、項目を繰り返すことはできません。つまり、システムは、開かれた最新の最大 6 つのアプリを記憶し、アプリのショートカットを置き換え、アプリリストの中で、最後のアプリが最初のアプリになり、リスト内の他のアプリが1つの位置にシフトすることを意味します。

HDMI/USB ディスク

入力ソース (HDMI/USB フラッシュドライブ) の 1 つがプロジェクターに接続されているとき、システムがどのように反応するかを定義します。

- **通知：**「通知」を選択して、入力ソースが検出されたときに入力切り替え確認メッセージを表示します。
- **ソースの自動切替：**「ソースの自動切替」を選択して、現在検出されている入力ソースに自動的に切り替えます。
- **なし：**「なし」を選択して、手動で入力ソースを切り替えます。

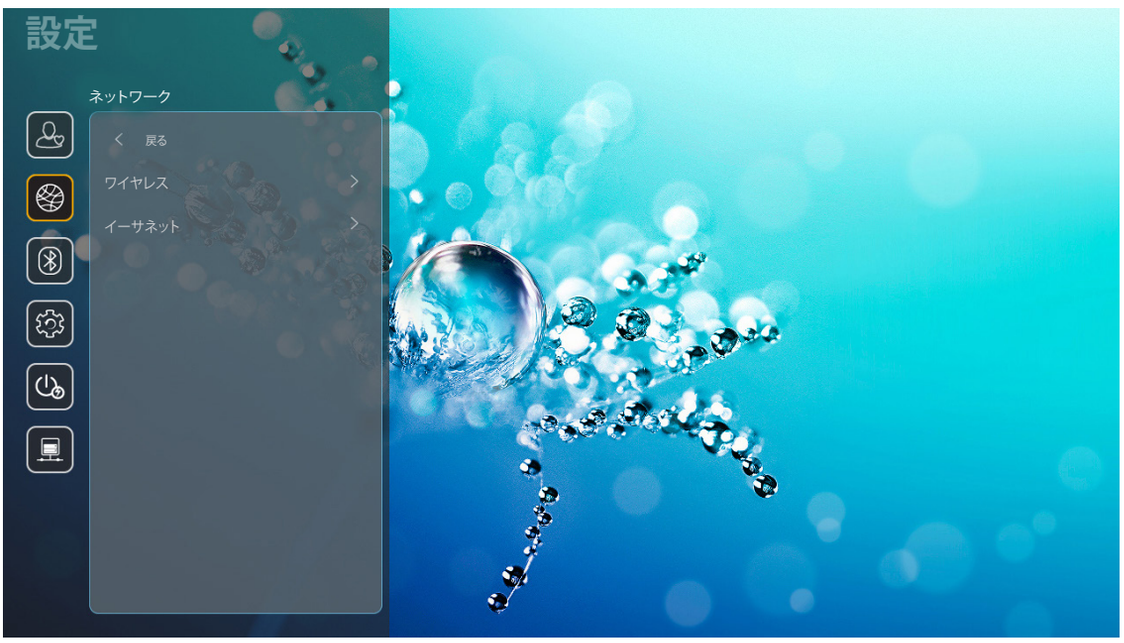
  注記： *また、HDMI ARC は、入力ソースとみなされます。ソース自動変更を無効にする場合は、HDMI/USB Disk オプションを「なし」に設定してください。*

入力名

必要に応じて、入力ソースの名前を変更してください。

プロジェクターを使用する

ネットワークメニュー



ワイヤレス

ワイヤレスネットワーク設定を構成します。

- **Wi-Fi：** Wi-Fi オプションを「ON」に設定して、ワイヤレスネットワーク機能を有効にします。
- **利用できるネットワーク:** 目的のワイヤレスアクセスポイントを選択し、例えば、パスワード、プロキシ設定、IP アドレスなどの必要な接続パラメータを入力または構成してください (必要に応じて)。情報については、信号強度を確認できます。

  設定を保存せず、ネットワークメニューに戻るには、「キャンセル」を選択してください。ワイヤレスネットワークプロファイルを削除するには、「消去」を選択してください。

  注記： *記号の入力が必要な場合、システムは、オンスクリーンキーボードを自動的にポップアップ表示します。*
- **その他のオプション:** 「WPSを介して接続」、「WPSを介して接続（PINを入力）」、「新しいネットワークを追加」(ネットワーク名を手動で入力します)、「ポータブルホットスポット」(他のデバイスに対するワイヤレスアクセスポイントとして動作するように、プロジェクターを構成します) などの詳細ワイヤレスネットワーク設定を構成します。

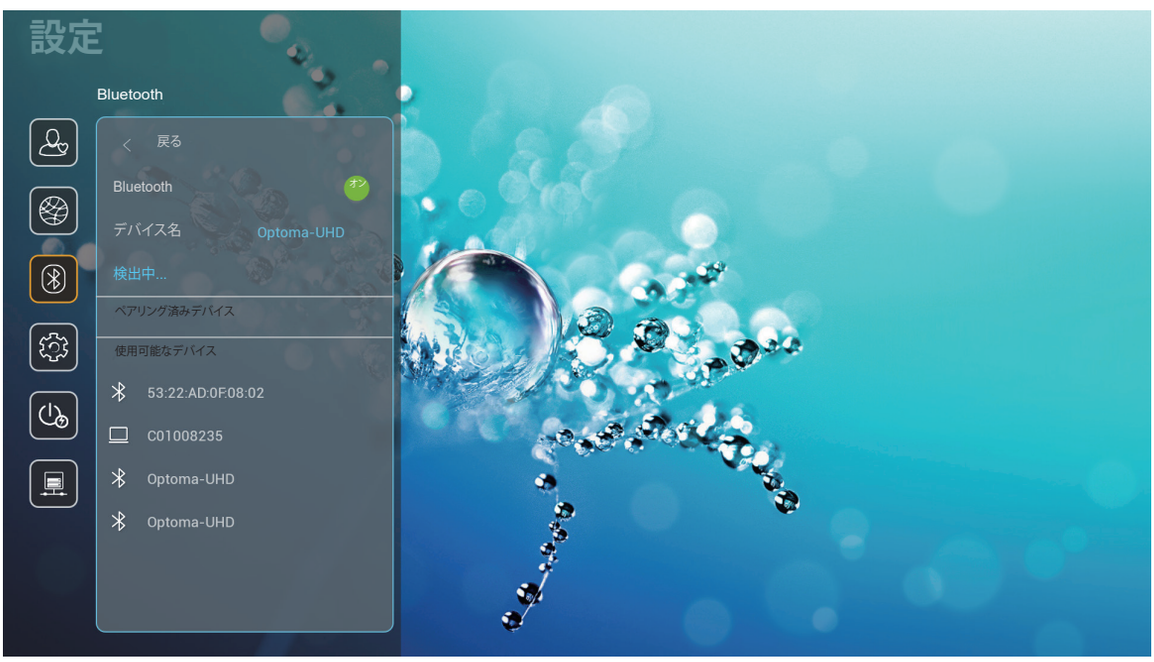
イーサネット

有線ネットワーク設定を構成します。

注記： *必ず、プロジェクターをローカルエリアネットワーク (LAN) に接続してください。39ページを参照してください。*

- **Status：**ネットワーク接続状態を表示します (読み取り専用)。
- **IPアドレス**：IP アドレスを表示します（読み取り専用)。
- **MACアドレス：**MAC アドレスを表示します (読み取り専用)。
- **プロキシ設定：**必要に応じて、プロキシホスト名、接続ポート、バイパスプロキシドメイン情報を手動で入力してください。
- **リセット：**ネットワーク設定を工場出荷時デフォルト設定に戻します。

Bluetooth メニュー



Bluetooth

Bluetooth オプションを「ON」に設定して、Bluetooth 機能を有効にします。

デバイス名

プロジェクター名を確認または変更してください。

注記： *記号の入力が必要な場合、システムは、オンスクリーンキーボードを自動的にポップアップ表示します。*

もう一度スキャンする

使用可能な Bluetooth デバイスを検索します。

ペアリング済みデバイス

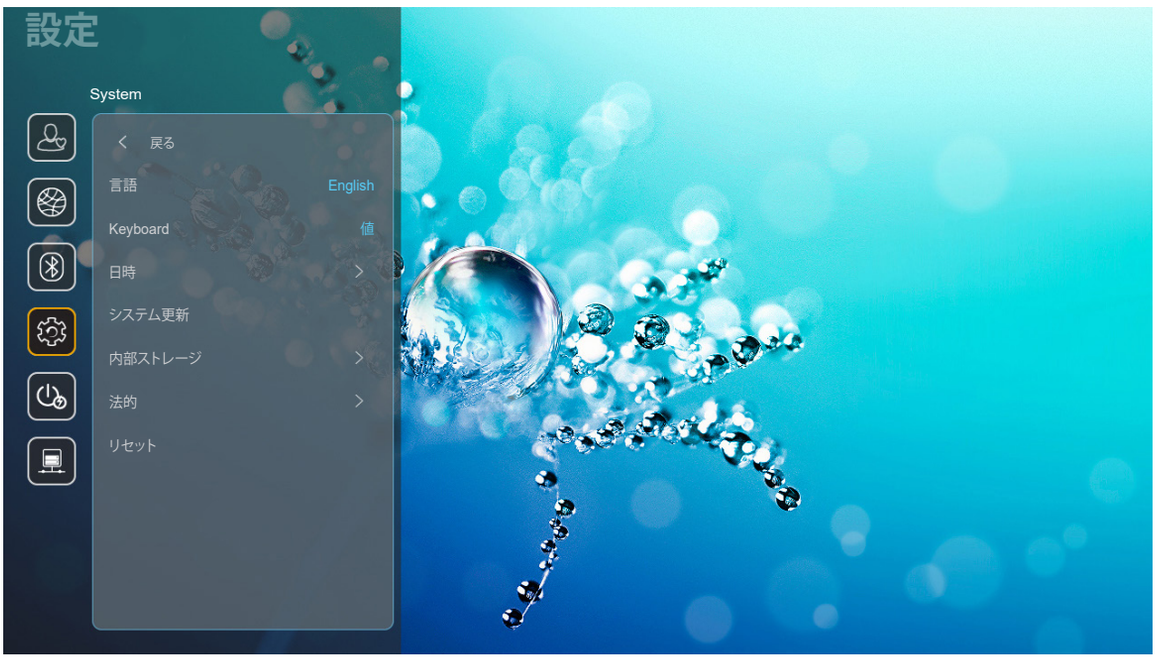
ペアリング済みデバイスを確認・管理します。

使用可能なデバイス

すべての使用可能な Bluetooth デバイスを確認します。

プロジェクターを使用する

システムメニュー



言語

ドイツ語、英語、スペイン語、フランス語、イタリア語、ポルトガル語、日本語、韓国語、ロシア語、繁体字中国語、簡体字中国語の間で、お好みのシステム言語を選択してください。

キーボード

キーボード言語を選択してください。

日時

日時設定を構成してください。

- **タイムゾーンを設定：**タイムゾーンを選択してください。
- **サマータイム:** お好みの日付形式を選択してください。
- **24時間表示を使用する**：24 時間フォーマットで時刻を表示する場合は、「ON」に設定してください。12 時間フォーマット (AM/PM) で時刻を表示する場合は、「OFF」に設定してください。

システム更新

プロジェクターがインターネット (OTA) に接続されるとき、システムは、更新を自動的に検索します。

内部ストレージ

内部ストレージの使用状況を表示します。

プロジェクターを使用する

法的

「利用規約および条件」、「プライバシーポリシー」、「クッキーポリシー」を含む法的文書を確認してください。

注記： *オンラインでも法的文書を確認できます。次の Web アドレスを参照してください:*

- *利用規約および条件：https://www.optoma.com/terms-conditions/*
- *クッキーポリシー：https://www.optoma.com/cookies-policy/*
- *プライバシーポリシー：https://www.optoma.com/software-privacy-policy/*

リセット

データ(「すべての設定をリセット」) を含むすべて設定、または、設定のみ (「初期状態にリセット」) を工場出荷時デフォルト設定にリセットします。メニューを終了し、現在の構成を維持する場合は、「キャンセル」を選択してください。

注記： *「初期状態にリセット」を選択すると、プロジェクターは自動的にオフになります。復元手順を開始するには、プロジェクターの電源を入れてください。*

電源メニュー

電源検知オートパワーオン

[ON] を選択すると、電源探知オートパワーオンモードが有効になります。プロジェクターは、AC 電源が供給されると自動的に電源オンになります。プロジェクターのキーパッドまたはリモコンの「電源」ボタンを押す必要はありません。

自動パワーオフタイマー(分)

カウントダウンタイマーの時間を設定します。カウントダウンタイマーは、プロジェクターへの入力信号が途切れると、カウントダウンを開始します。カウントダウンが終了すると、自動的にプロジェクターの電源が切れます (単位は分です)。

注記： *プロジェクターがホームモードである場合、「自動パワーオフタイマー(分)」機能は使用できません。*

スリープタイマー (分)

カウントダウンタイマーの時間を設定します。カウントダウンタイマーは、プロジェクターへの入力信号の有無に関わらず、カウントダウンを開始します。カウントダウンが終了すると、自動的にプロジェクターの電源が切れます。
(単位は分です)。

電源モード(スタンバイ)

スタンバイ時の電源モード設定を構成します。

- **Smart Home：**「Smart Home」を選択して、ノーマルスタンバイ (LAN オン、Wi-Fi オン) に戻ります。
- **エコ：**[エコ]を選択すると、節電モードになります(<0.5W)。

電源モード	エコ (<0.5W)	Smart Home (<8W)
IoT (Alexa、Google Assistant、IFTTT) がプロジェクターをオンにします	該等なし	はい
Bluetooth スピーカーモードに切り替えます	該等なし	はい
コントローラ Bluetooth モードを経由して、電源をオンにします	IR を経由して電源をオンにします	はい
InfoWall スケジュールにより、プロジェクターをオンにします	該等なし	はい

プロジェクターを使用する

コントロールメニュー

LANコントロール

- **IoT：**「OFF」に設定して、「InfoWall」を含む、「IoT」を経由して、すべてのコントロールをオフにします。

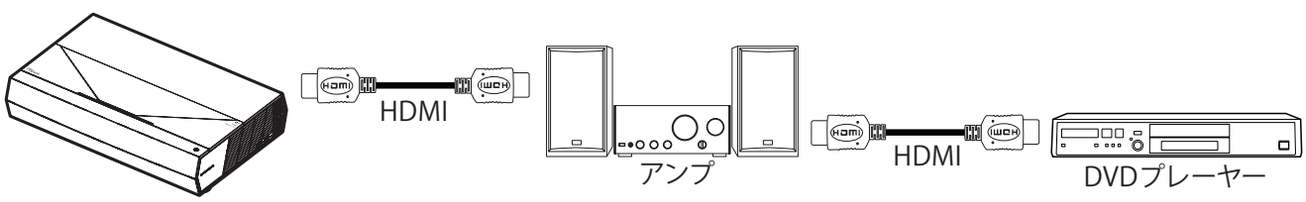
HDMIリンク設定

HDMI リンク設定を構成します。

- **電源オン設定：**この機能を有効にして、HDMI リンクとプロジェクターの両方を同時に自動的にオンにします。
- **電源オフ設定**：この機能を有効にして、HDMI Link とプロジェクターの両方を同時に自動的にオフにします。

注記：

- *ソースが HDMI 1 または HDMI 2 ポートに接続されている場合のみ、HDMI リンク機能はサポートされます。*
- *他のデバイスにより、プロジェクターをコントロールできますが、他のデバイスをコントロールするために、使用することはできません。*
- *ダウンストリームオーディオデバイス (AVR、Soundbar) が、HDMI ARC をサポートする場合、出力デジタルオーディオに対して、HDMI ARC ポートを使用することができます。*

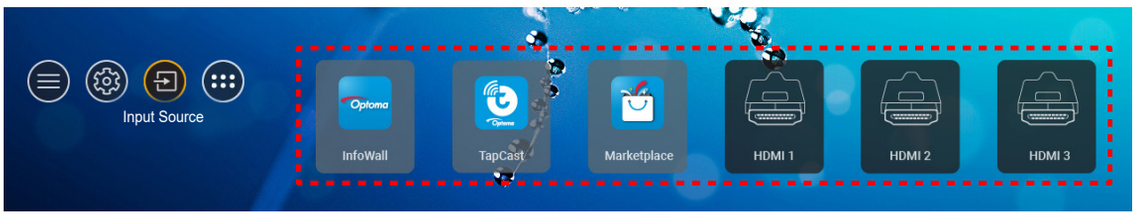


プロジェクターを使用する

入力ソースを選択する

入力ショートカットを使用して、ホーム画面上で直接入力ソースを選択できます。

注記： *ショートカット設定を「System 設定メニュー → パーソナライズ → ホームへのショートカット」でパーソナライズできます。また、ホーム画面上のショートカットの順序を変更できます。*



希望の入力ソースが、ホーム画面上に表示されない場合は、「」を選択して、すべての入力オプションを表示してください。次に、入力ソースを選択するか、「ホーム」を選択して、ホーム画面に戻ってください。

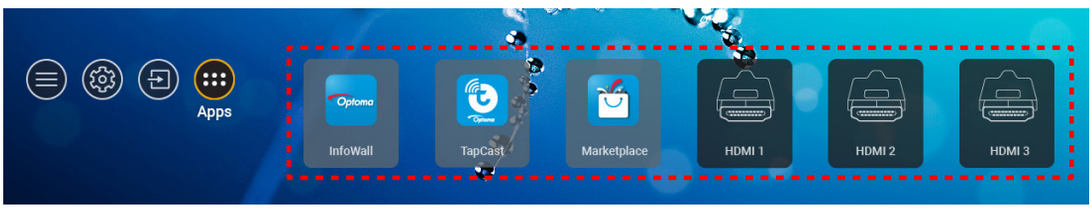
注記： *プロジェクターは、入力ソースが検出されたとき、入力切替確認メッセージを通知して、現在検出された入力ソースに自動または手動で切り替えるように設定できます。42 ページ を参照してください。*

プロジェクターを使用する

アプリの選択

アプリショートカットを使用して、ホーム画面上で直接アプリを選択できます。

注記： *ショートカット設定を「System 設定メニュー →パーソナライズ →ホームへのショートカット」でパーソナライズできます。*



希望のアプリが、ホーム画面上に表示されない場合は、「⊞」を選択して、すべてのインストール済アプリを表示してください。次に、希望のアプリを選択してください。

※　日本仕様では、一部のアプリが動作しない場合があります。
予めご了承ください。

サポートするマルチメディア形式

マルチメディアファイルを再生する場合は、マルチメディアコンテンツを含む USB ストレージをプロジェクターに接続してください。次に、マルチメディアプレーヤーアプリを開き、再生する希望のファイルを選択してください。

プロジェクターは、次のマルチメディア形式をサポートします:

メディアカテゴリ	デコーダー	サポートするファイル形式
ビデオ	H.263	MOV
		3GP
		AVI
		MKV
	H.264	FLV
		MP4
		MOV
		3GP
		MPEG 転送ストリーム(.ts/.trp/.tp)
		ASF
		WMV
		AVI
		MKV
	HEVC/H.265	MP4
		MOV
		MPEG 転送ストリーム(.ts/.trp/.tp)
		MKV
	MPEG1/2	MPEG プログラムストリーム (.DAT/.VOB/.MPG/.MPEG)
		MPEG 転送ストリーム(.ts/.trp/.tp)
		MP4
		AVI
		MKV
	MPEG4	MP4
		MOV
		3GP
		AVI
		MKV
	Motion JPEG	AVI
		MP4
		MOV
	AVS	MP4
	VC1	WMV

メディアカテゴリ	デコーダー	サポートするファイル形式
オーディオ	MPEG1/2 Layer2	AVI
		Matroska (MKV、MKA)
		MP4
		MOV
		MPEG 転送ストリーム(.ts/.trp/.tp)
		MPEG プログラムストリーム (.DAT/.VOB/.MPG/.MPEG)
	MPEG1/2/2.5 Layer3	MP3
		Matroska (MKV、MKA)
		MP4
	MPEG1/2/2.5 Layer3	MOV
		MPEG 転送ストリーム(.ts/.trp/.tp)
		MPEG プログラムストリーム (.DAT/.VOB/.MPG/.MPEG)
	AC3	AC3
		Matroska (MKV、MKA)
		MOV
		MPEG 転送ストリーム(.ts/.trp/.tp)
		MPEG プログラムストリーム (.DAT/.VOB/.MPG/.MPEG)
	EAC3	MP4
	AAC、HEAAC	AAC
		MP4
		MOV
		M4A
		MPEG 転送ストリーム(.ts/.trp/.tp)
	LPCM	WAV
		AVI
		Matroska (MKV、MKA)
	IMA-ADPCM MS-ADPM	WAV
		AVI
		Matroska (MKV、MKA)
		MP4
	FLAC	Matroska (MKV、MKA)
フォト	BMP	15360 x 8640 (最大解像度の制限は DRAM サイズに依存します)

注記：

- *メディアプレイヤーアプリを使用して、すべてのマルチメディアファイルを再生できます。*
- *プロジェクター背面の HDMI 1 (ARC) ポートは、Dolby ATMOS パススルーをサポートします。*

画像

イメージタイプ (Ext 名)	サブタイプ	最大ピクセル
Jpeg/Jpg	ベースライン	8000 x 8000
	プログレッシブ	6000 x 4000
PNG	ノンインターレース	6000 x 4000
	インターレース	6000 x 4000
BMP		6000 x 4000

プロジェクターを使用する

文書

文書フォーマット	サポートバージョンおよびフォーマット	ページ/行制限	サイズ制限
PDF	PDF 1.0 ～ 1.7 およびそれ以降	最大 1500 ページ (1 つのファイル)	最大 100MB
Word	Kingsoft Writer 文書 (*.wps)	WPS Projector は、一度に MS/Word ファイルを読み込まないので、ファイルのページ数と行数に明らかな制限はありません。	最大 150MB
	Kingsoft Writer テンプレート (*.wpt)		
	Microsoft Word 97/2000/XP/2003 文書 (*.doc)		
	Microsoft Word 97/2000/XP/2003 テンプレート (*.dot)		
	RTF ファイル (*.rtf)		
	テキストファイル (*.txt, *.log, *.lrc, *.c, *.cpp, *.h, *.asm, *.s, *.java, *.asp, *.prg, *.bat, *.bas, *.cmd)		
	Web ページファイル (*.html, *.htm)		
	シングル Web ページファイル (*.mht, *.mhtml)		
	Microsoft Word 2007/2010 文書 (*.docx)		
	Microsoft Word 2007/2010 テンプレート (*.dotx)		
	Microsoft Word 2007/2010 マクロ有効文書 (*.docm)		
	Microsoft Word 2007/2010 マクロ有効テンプレート (*.dotm)		
	XML ファイル (*.xml)		
	OpenDocument テキスト		
	Works 6-9 文書 (*.wtf)		
	Works 6.0&7.0 (*.wps)		
Excel	Kingsoft スプレッドシートファイル (*.et)	行の制限：最大 65,535 列の制限：最大 256 シート：最大200	最大 30MB
	Kingsoft スプレッドシートテンプレート (*.ett)		
	Microsoft Excel 97/2000/XP/2003 ワークブック (*.xls)		
	Microsoft Excel 97/2000/XP/2003 テンプレート (*.xlt)		
	テキストファイル (*.csv)		
	Web ページ (*.htm, *.html)		
	XML ファイル (*.xml)		
	Microsoft Excel 2007/2010 ファイル (*.xlsx, *.xlsm)		
	Microsoft Excel 2007/2010 テンプレート (*.xltx)		
	Microsoft Excel 2007/2010 バイナリワークブック (*.xlsb)		
PowerPoint	Kingsoft プレゼンテーションファイル (*.dps)	最大 1500 ページ (1 つのファイル)	最大 30MB
	Kingsoft プレゼンテーションテンプレート (*.dpt)		
	Microsoft PowerPoint 97/2000/XP/2003 プレゼンテーション (*.ppt, *.pps)		
	Microsoft PowerPoint 97/2000/XP/2003 プレゼンテーションテンプレート (*.pot)		
	Microsoft PowerPoint 2007/2010 プレゼンテーション (*.pptx, *.ppsx)		
	Microsoft PowerPoint 2007/2010 プレゼンテーションテンプレート (*.potx)		

注記：

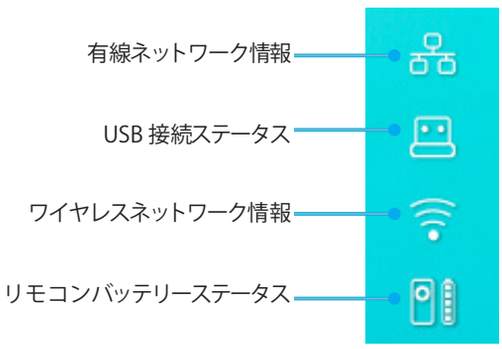
- *複雑な内容の大きなファイルの場合は、デコードに時間がかかることがあります。*
- *ファイルに埋め込まれたオブジェクトをアクティブ化または表示することはできません。*

- *Microsoft Word の場合*
  – 描画プラグインまたは表の背景設定などの高度な設定はサポートされていません。
  – Microsoft Word の定義された枠外の内容は表示されません。
  – 簡体字中国語フォントでの太字テキストをサポートしていません。
- *Microsoft PowerPoint の場合*
  – スライド効果はサポートされていません。
  – パスワードで保護されたシートは保護されません。
  – Powerpoint アニメーションはサポートされません。
- *Microsoft Excel の場合*
  – ワークブックに複数のワークシートがある場合、ワークシートは個別かつ順番に表示されます。
  – ページのレイアウトと番号は、デコード中に変更されることがあります。

プロジェクターを使用する

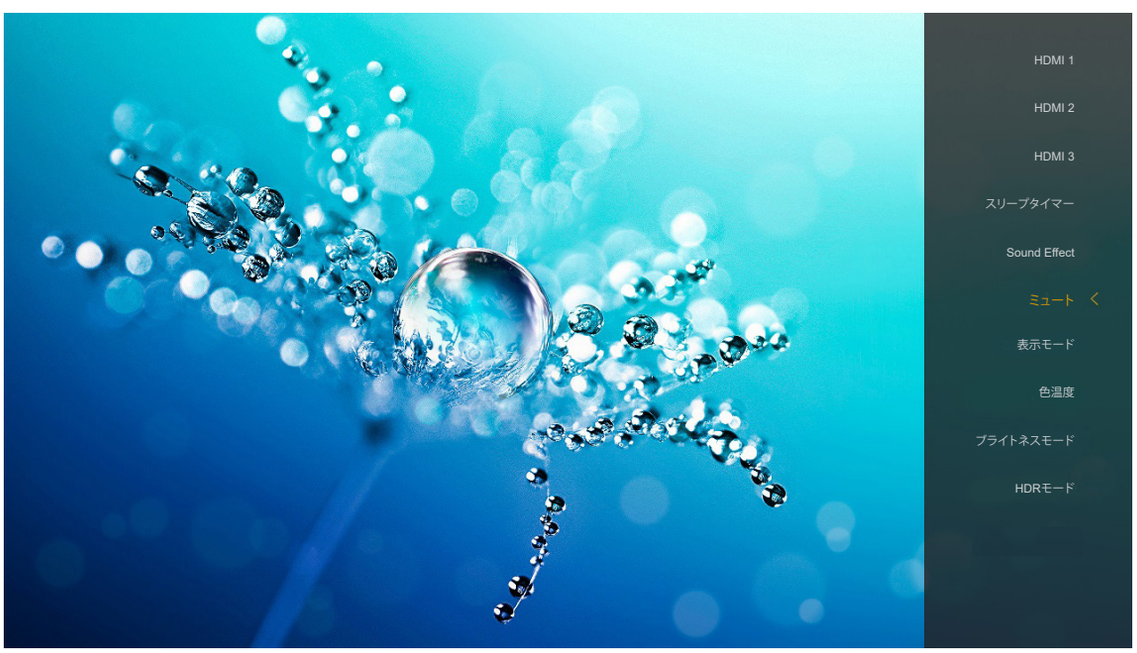
ステータスバーの表示

デフォルトで、ホーム画面のステータスバーには、有線ネットワーク、USB、ワイヤレスネットワークに関連する接続ステータス、リモコンの残りバッテリーステータス (該当する場合) が表示されます。リモコンのバッテリーを除く、関連するメニューを開くために、アイコンを選択できます。有線またはワイヤレスステータスアイコンを選択すると、ネットワーク構成メニューが開きます。また、USB ステータスアイコンを選択すると、ブラウザーが開き、接続される USB デバイスの内容が表示されます。



クイックメニューについて

クイックメニューには、OSD メニュー項目に対するショートカットが表示されます。



クイックメニューにアクセスするには、リモコンの「☰」ボタンを長押ししてください。

追加情報

対応解像度

デジタル (HDMI 1.4)

確立されたタイミング	標準タイミング	ディスクリプターのタイミング	サポートされるビデオモード	詳細タイミング
720 x 400 @ 70Hz	1280 x 720 @ 60Hz	1920 x 1080 @ 60Hz (デフォルト)	720 x 480i @ 60Hz 16:9	1920 x 1080p @ 60Hz
640 x 480 @ 60Hz	1280 x 800 @ 60Hz		720 x 480p @ 60Hz 4:3	
640 x 480 @ 67Hz	1280 x 1024 @ 60Hz		720 x 480p @ 60Hz 16:9	
640 x 480 @ 72Hz	1920 x 1200 @ 60Hz (レデュースド)		720 x 576i @ 50Hz 16:9	
640 x 480 @ 75Hz	1366 x 768 @ 60Hz		720 x 576p @ 50Hz 4:3	
800 x 600 @ 56Hz			720 x 576p @ 50Hz 16:9	
800 x 600 @ 60Hz			1280 x 720p @ 60Hz 16:9	
800 x 600 @ 72Hz			1280 x 720p @ 50Hz 16:9	
800 x 600 @ 75Hz			1920 x 1080i @ 60Hz 16:9	
832 x 624 @ 75Hz			1920 x 1080i @ 50Hz 16:9	
1024 x 768 @ 60Hz			1920 x 1080p @ 60Hz 16:9	
1024 x 768 @ 70Hz			1920 x 1080p @ 50Hz 16:9	
1024 x 768 @ 75Hz			1920 x 1080p @ 24Hz 16:9	
1280 x 1024 @ 75Hz			3840 x 2160 @ 24Hz	
1152 x 870 @ 75Hz			3840 x 2160 @ 25Hz	
			3840 x 2160 @ 30Hz	
			4096 x 2160 @ 24Hz	

デジタル (HDMI 2.0)

B0/確立タイミング	B0/標準タイミング	B1/ビデオモード	B1/詳細タイミング
720 x 400 @ 70Hz	1280 x 720 @ 60Hz	720 x 480i @ 60Hz 16:9	1920 x 1080p @ 60Hz
640 x 480 @ 60Hz	1280 x 800 @ 60Hz	720 x 480p @ 60Hz 4:3	
640 x 480 @ 67Hz	1280 x 1024 @ 60Hz	720 x 480p @ 60Hz 16:9	
640 x 480 @ 72Hz	1920 x 1200 @ 60Hz (レデュースド)	720 x 576i @ 50Hz 16:9	
640 x 480 @ 75Hz	1366 x 768 @ 60Hz	720 x 576p @ 50Hz 4:3	
800 x 600 @ 56Hz		720 x 576p @ 50Hz 16:9	
800 x 600 @ 60Hz		1280 x 720p @ 60Hz 16:9	
800 x 600 @ 72Hz		1280 x 720p @ 50Hz 16:9	
800 x 600 @ 75Hz		1920 x 1080i @ 60Hz 16:9	
832 x 624 @ 75Hz		1920 x 1080i @ 50Hz 16:9	
1024 x 768 @ 60Hz		1920 x 1080p @ 60Hz 16:9	
1024 x 768 @ 70Hz		1920 x 1080p @ 50Hz 16:9	
1024 x 768 @ 75Hz		1920 x 1080p @ 24Hz 16:9	
1280 x 1024 @ 75Hz		3840 x 2160 @ 24Hz	
1152 x 870 @ 75Hz		3840 x 2160 @ 25Hz	
		3840 x 2160 @ 30Hz	
		3840 x 2160 @ 50Hz	
		3840 x 2160 @ 60Hz	
		4096 x 2160 @ 24Hz	
		4096 x 2160 @ 25Hz	
		4096 x 2160 @ 30Hz	

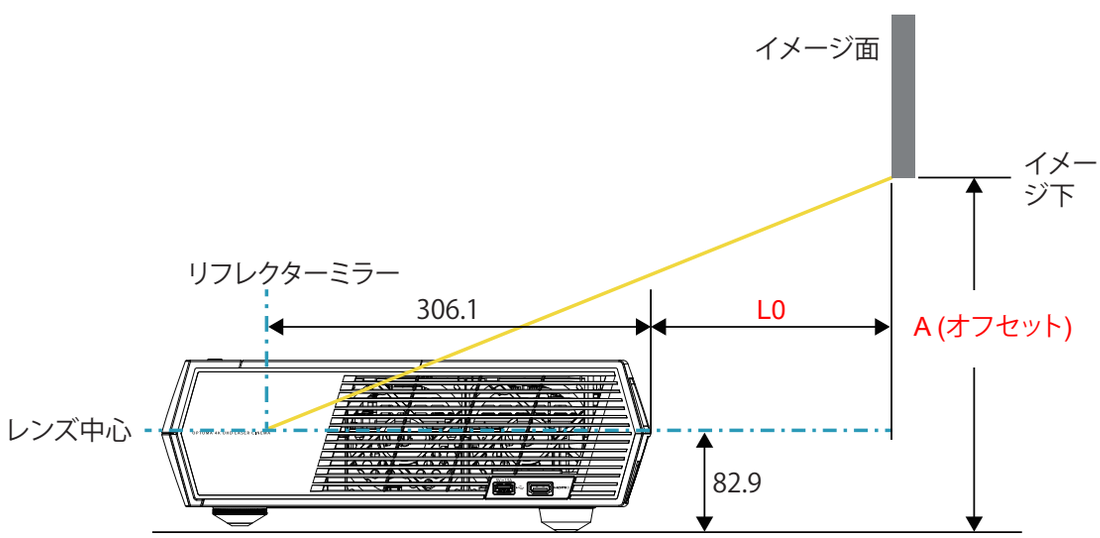
B0/確立タイミング	B0/標準タイミング	B1/ビデオモード	B1/詳細タイミング
		4096×2160@50Hz	
		4096×2160@60Hz	

注記：1920×1080@50Hzをサポートします。

イメージサイズと投写距離

画面サイズ HD(16:9)	イメージサイズ m		投写距離m	オフセットm
	幅(W)	高さ(H)	Lo	A
85 型	1.882	1.059	0.172	0.337
90 型	1.992	1.121	0.200	0.352
95 型	2.103	1.183	0.228	0.367
100 型	2.214	1.245	0.256	0.382
105 型	2.324	1.308	0.284	0.397
110 型	2.435	1.370	0.312	0.412
115 型	2.546	1.432	0.341	0.427
120 型	2.657	1.494	0.369	0.442

※アスペクトHD(16:9)映写時の距離です。投写距離は実際の距離と誤差のある場合があります。（許容誤差±5%）



注記：

- *光学的製造の制限により、垂直オフセットは異なる場合があります。プロジェクターを切り替えるとき、追加調整が発生する可能性があります。*

追加情報

リモコン

注記：

- 特に指定のない限り、次の表に記載する機能は、特定のボタンを短く押して実行します。
- リモコンが正常にペアリングされると、Bluetooth デバイスメニューでのリモコン名は「OptomaRemote」です。

Function		Bluetooth 信号		説明		
		使用ページ	使用 ID			
		HID Code	HID Code	スタンバイ	投影モード	スピーカーモード
電源オン/スタンバイ	⏻	0x07	0x66	「⏻」を押して、プロジェクターを投影モードに切り替えてください。「プロジェクターの電源を入れる/切る」のセクション(19～22ページ)を参照してください	「⏻」を押して、選択メニューをポップアップ表示させ、Bluetooth スピーカーとスタンバイモードの間で切り替えてください。 「⏻」ボタンを 2 回押して、スタンバイモードに切り替えてください。	「⏻」を押して、スタンバイモードに入ってください。

追加情報

Function		Bluetooth 信号		説明		
		使用ページ	使用 ID	スタンバイ	投影モード	スピーカーモード
		HID Code	HID Code			
オーディオモードオン	(●)	0x0C	0x49	「(●)」を押して、Bluetooth スピーカーをオンに切り替えてください。Bluetooth デバイスを自動的にペアリングするために最大 3 分かかることがあります。ペアリングに失敗した場合、プロジェクターは、スタンバイモードに入ります。 **注記：** • *電源スタンバイ時のみサポートします: SmartHome モード。* • *プロジェクターは、最大 10台の Bluetooth 電源を記憶します。* • *Bluetooth デバイスがペアリングされると、可聴音が聞こえます。*	「(●)」を押して、オーディオモードへの切り替え確認メッセージをポップアップ表示 させてください。	該等なし
プロジェクターOSD/クイックメニュー	≡	0x07	0x76	該等なし	「≡」を押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューを起動させてください。 **注記：** *「≡」を長押しして、クイックメニューを開いてください。*	該等なし
注記： *クイックメニューの場合、使用ページ HID Code は 0x0C、使用 ID HID Code は 0x76 です。*						
上		0x07	0x52	該等なし	4 方向選択ボタンを使用して項目を選択するか、選択に合わせて調整を行ってください。	該等なし
左		0x07	0x50			
右		0x07	0x4F			
下		0x07	0x51			
OK		0x07	0x58	該等なし	「OK」ボタンを押して、項目選択を確認してください。	該等なし
戻る	⮌	0x0C	0x224	該等なし	「⮌」を押して、前画面に戻ります。	該等なし
ホーム	⌂|⊖	0x0C	0x223	該等なし	「⌂|⊖」ボタンを押して、ホーム画面に戻ります。 **注記：** *「⌂|⊖」を長押しして、エアマウスを有効/無効にします。*	該等なし
注記： *エアマウスカーソルの有効/無効は、リモコンにより切り替えます。0x0c 0x51 および 0x0C 0X53 は、プロジェクターに対するステータス確認です。*						該等なし

追加情報

Function		Bluetooth 信号		説明		
		使用ページ	使用 ID	スタンバイ	投影モード	スピーカーモード
		HID Code	HID Code			
Android オプション/フォーカス	⋮|⊕	0x07	0x73	アプリをアンインストール/インストールするために、「⋮|⊕」ボタンを押して、サードパーティー製アプリ > アプリオプションを開くか、アプリアイコンを選択してください。 **注記：**「⋮|⊕」を長押しして、フォーカスを調整してください。	該等なし	該等なし
注記： フォーカス調整の場合、使用ページ HID Code は 0x0C、使用 ID HID Code は 0x52 です。						該等なし
音量 -	ー	0x0C	0xEA	「ー」ボタンを押して、音量を下げてください。 **注記：** 必要に応じて、「ー」を繰り返し押してください。		該等なし
音量 +	＋	0x0C	0xE9	「＋」ボタンを押して、音量を上げてください。 **注記：** 必要に応じて、「＋」を繰り返し押してください。		該等なし

追加情報

トラブルシューティング

プロジェクターに問題が発生した場合は、以下をご参照ください。それでも問題が解決しない場合、最寄りの販売店またはテクニカルサポートセンターにお問い合わせください。

画像の問題

画面に画像が表示されない

- すべてのケーブルと電源が、16 ページに記載されている手順どおりに正しく接続されていることを確認してください。
- 各接続ピンが曲がっていたり、壊れていないかどうか、ご確認ください。

画像のピントが合っていない

- 投写画面がプロジェクターから必要な距離の間に入っていることを確認してください。*56* ページを参照してください。
- リモコンを使用して、フォーカスを調整してください。36 ページ を参照してください。

16:9 DVD タイトルを再生表示しているとき、画像が伸びる

- アナモフィック DVD または 16:9 DVD を再生しているとき、プロジェクターはプロジェクター側で 16: 9 フォーマットで最高の画像を表示します。
- 4:3 フォーマット DVD タイトルを再生している場合、プロジェクター OSD で 4:3 としてフォーマットを変更してください。
- お使いの DVD プレーヤーで、16:9 (ワイド) アスペクト比タイプとして表示フォーマットをセットアップしてください。

画像が大きすぎる、または小さすぎる

- プロジェクターを画面に近づけたり、遠ざけたりしてください。
- リモコンの「☰」を押して、「OSD メニュー → ディスプレイ → アスペクト比」に進んでください。別の設定を試してみます。
- リモコンの「☰」を押して、「OSD メニュー → ディスプレイ → ジオメトリ補正 → ワープ校正」に進んでください。別の設定を試してみます。

画像が横に傾く:

- 可能であれば、プロジェクターがスクリーンの中央下端に来るように配置し直してください。

画像が反転する

- 「OSD メニュー → セットアップ → 投影モード」を選択し、投影方向を調整してください。

音が鳴りません

- サポートされるオーディオファイル形式 (50 ページ) を参照してください。
- 「ミュート」機能がオンに設定されていないか確認してください。
- 「内蔵スピーカー」機能がオフに設定されていないか確認してください。35 ページを参照してください。

追加情報

HDMI ARC ソースから音が聞こえない

- 「OSD メニュー → オーディオ → デジタル出力 → Bitstream/ PCM/ Auto」を選択してください。異なる設定をお試しください。

HDMI イメージが異常に表示される

- 「OSD メニュー → ディスプレイ → HDMI 1 EDID/ HDMI 2 EDID」を「1.4」または「2.2」に選択してください。

注記： *HDMI 3 は、HDMI 1.4 のみをサポートします。*

画像が二重にぼやける

- 「OSD メニュー → 3D → 3D技術」がオンではなく、通常の 2D イメージがぼやけた二重画像を表示しないことを確認してください。

2 つの画像、サイドバイサイドフォーマット

- 「OSD メニュー → 3D → 3D映像フォーマット」を「SBS」に設定してください。

その他の問題

プロジェクターがすべてのコントロールへの反応を停止します

- 可能であれば、プロジェクターの電源を切って電源コードを抜き、20 秒待ってから電源を接続し直してください。

リモコンの問題

リモコンが作動しない場合、次を確認してください

- リモコンの操作角度が、プロジェクターの IR レシーバーから ±15° 以上ずれていないことを確認します。
- リモコンとプロジェクターとの間に障害物がないことを確認する。
- リモコンが、プロジェクターの正面のみで動作することを確認してください。
- 投写画像に向けて、リモコン操作を試みてください。
- 電池が消耗したら交換してください。
- リモコンがプロジェクターと正常にペアリングされていることを確認してください。正常に接続された場合、 ボタンを押すと、リモコンの LED インジケーターは、青色に点灯します。

追加情報

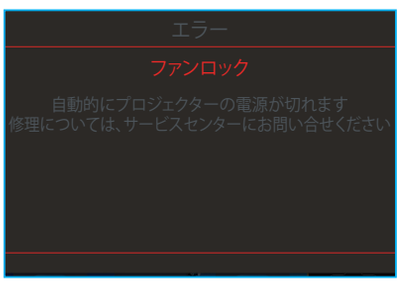
LED 点灯メッセージ

メッセージ	電源 LED		Bluetooth LED	温度 LED	ランプ LED
	(赤)	(白)	(白)	(赤)	(赤)
スタンバイ (エコ)、Bluetooth はペアリングされていません	点灯	該等なし	該等なし	該等なし	該等なし
スタンバイ (Smart Home)、Bluetooth はペアリングされていません	点滅 (0.5 秒オフ/ 2 秒オン)	該等なし	該等なし	該等なし	該等なし
電源オン (ウォーミング)	該等なし	点滅 (0.5 秒オフ / 0.5 秒オン)	該等なし	該等なし	該等なし
電源オン (標準動作)	該等なし	点灯	該等なし	該等なし	該等なし
電源オフ (冷却)	該等なし	点滅 (0.5 秒オフ / 0.5 秒 オン)。冷却ファンがオフになると、赤色の点灯に戻ります	該等なし	該等なし	該等なし
Bluetooth ペアリング (Bluetooth スピーカーモード)	該等なし	該等なし	点滅 (0.5 秒オフ / 0.5 秒オン)。3 分以内にペアリングされない場合、スタンバイモードに戻ります	該等なし	該等なし
Bluetooth ペアリング済 (Bluetooth スピーカーモード)	該等なし	該等なし	点灯	該等なし	該等なし
エラー（ランプトラブル）	点滅	該等なし	該等なし	該等なし	点灯
エラー（ファントラブル）	点滅	該等なし	該等なし	点滅	該等なし
エラー（過熱）	点滅	該等なし	該等なし	点灯	該等なし
スタンバイ状態 (バーンインモード)	該等なし	点滅	該等なし	該等なし	該等なし
バーンイン (警告)	該等なし	点滅	該等なし	該等なし	該等なし
バーンイン (冷却中)	該等なし	点滅	該等なし	該等なし	該等なし
バーンイン (ランプ点灯)	該等なし	点滅 (3 秒オン/ 1 秒オフ)	該等なし	該等なし	該等なし
バーンイン (ランプオフ)	該等なし	点滅 (1 秒オン/ 3 秒オフ)	該等なし	該等なし	該等なし

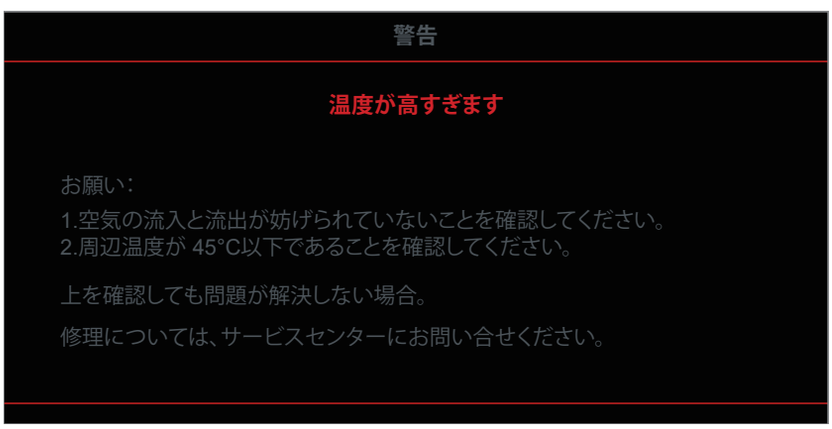
追加情報

- 電源オフ:

- ファンのトラブル:



- 温度警告:



追加情報

仕様

光学	説明
最大解像度	- 最大グラフィック 2160p@60Hz - 最大解像度: HDMI1 (2.0b): 2160p@60Hz HDMI2 (2.0b): 2160p@60Hz HDMI3 (1.4): 2160p@24Hz
レンズ	固定レンズ
イメージサイズ (対角)	85″ ~ 120″
投写距離	- 0.17m (85 インチ) - 0.36m (120 インチ)

電気	説明
入力	- HDMI V2.0 x2 **注記：** *HDMI 1 (ARC) ポートは、2 チャンネル PCM、Dolby Digital、Dolby Digital Plus、Dolby Digital Plus With Atmos をサポートします。* - HDMI 1.4x1 - USB2.0 (背面) - USB2.0 (背面、サービスのみ) - USB2.0 (右側面、電源 5V ⎓ 1.5A) - RJ-45 (IoT、インターネット OTA 機能)
出力	- 音声出力 (3.5mm) - S/PDIF 出力 (2 チャンネル PCM、Dolby Digital)
メモリ	- eMMC: 16GB (1x128Gb) - DDR: 最大 2GB メモリをサポートします。1GB DDR848 がプレインストールされています
色再現	10 億 7340 万色
スキャン速度	- 水平スキャン速度: 31 ～ 135KHz - 垂直スキャン速度: 24 ～ 120Hz
内蔵スピーカー	2x 19W スピーカー
電力要件	100 ～ 240V ±10%、AC 50/60Hz
消費電力	- スタンバイモード: < 0.5W - ネットワークスタンバイモード (イーサネットポートを除く): < 2W - ネットワークスタンバイモード (WLAN): < 8.0W - スマートフォンホームモード: (> 0.5W、< 8.0W)
入力電流	3.2A

機械	説明
取り付け方向	フロント、リア
寸法 (幅 x 奥行 x 高さ)	- 576 x 383 x 115mm（突起部含まず） - 576 x 383 x 135mm（突起部含む）
重さ	10.5 kg
環境条件	5 ～ 40℃、10% ～ 85% 湿度 (結露なし) で動作

注記： *仕様はすべて予告なしで変更されることがあります。*

保　証　書

型　　式	G1		
★シリアル番号			
★ご 購 入 日	年　　月　　日	保証期間	ご購入から1年間

★お客様	ご住所	
	お名前/電話番号	様 TEL　（　　）
★販売店	住所/販売店名	TEL　（　　）

ご販売店様へ　上記★印欄は必ず記入してお渡しください。

無料修理規定

※本書にお買い上げ年月日、お客様名、お買い上げ取扱店名が記入されているかお確かめください。
万一記入が無い場合は直ちにお買い上げ取扱店にお申し出ください。

1. 保証期間内であっても次の場合は有償修理となります。
   (1) この保証書のご提示がない場合。
   (2) 保証書に、ご購入の年月日、お客様名、お買い上げ取扱店名の記入がない場合。
   (3) ご使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障および損傷。
   (4) お買い上げ後の移動、輸送、落下等による故障および損傷。
   (5) 火災や天災等による故障および損傷。
   (6) 消耗品および付属品の交換の場合。
2. その他弊社が有償修理と判断した場合、実費を申し上げます。
3. 本機は、レーザ光源のためランプの保証期間は、ありません。
   ※異常が発生しましたらオーエス テクニカルサポートセンターまでご連絡ください。
4. この保証書は日本国内においてのみ有効です。
   Effective only Japan
5. 本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

**※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。
したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、下記テクニカルサポートセンター
または、お買い上げの販売店にお問い合わせください。**

販売元　株式会社オーエスエム

連絡先：株式会社オーエス　テクニカルサポートセンター
〒557-0063　大阪市西成区南津守 6-5-53
TEL　0120-465-040　FAX　0120-380-496
（受付時間：平日9:00～17:50　土日祝日を除く）
E-mail：info@os-worldwide.com　　WEB　https://www.optoma.jp